

第八十一回帝國議會 院 議 北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十一鐵道
買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案外一件

委員會會議錄(速記)第三回

付託議案

北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十一鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)(第三號)
多額鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)(第三五號)

昭和十八年二月四日(木曜日)午後一時十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 横川 重次君

理事佐久間 渡君 理事坂東幸太郎君

理事山田 順策君

逢澤 寛君

新井 堯爾君

植村 武一君

加藤 俊夫君

紅露 昭君

田中 亮一君

高島龜太郎君

星島 二郎君

同日委員紅露昭君辭任ニ付其ノ補闕トシテ久山知之君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

鐵道大臣 八田 嘉明君

出席政府委員左ノ如シ

內務省管理局長 竹内 徳治君

鐵道次官 長崎惣之助君

鐵道監 平山 孝君

鐵道監 齋藤 義八君

鐵道監 佐藤 榮作君

鐵道監 堀木 謙三君

鐵道監 小林 紫朗君

鐵道監 向笠 金吾君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十一鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)(第三號)

多額鐵道株式會社所屬新義州南市間鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)(第三五號)

○横川委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、質疑ヲ續行致シマス——逢澤寛君

○逢澤委員 鐵道ノ戰時對策ニ關シマシテ、昨日大臣カラ熱心ナ御説明ガアリマシテ、私共大體其ノ熱意ニ對シマシテ感謝ヲ致シテ居ルノデアリマス、隨テ只今御提案中ノ私鐵ノ買收ノ如キモ、戰力增強ノ爲ニ、其ノ陸上輸送ノ充實上極メテ必要ナヤウニ伺ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ御提案ノ以外ニモ、本提案中ノモノヨリ一層此ノ戰時下ニ必要ナ線モ段々アルト思ヒマスシ、此ノ際所謂戰時對策ト致シマシテ、大膽率直ニ斯ウ云フヤウナモノヲ買收ナサル御意見ガアルガラウカドウダラウカ、斯ウ云フコトヲ先ヅ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、又是トハ正反對ニ、只今建設中ノモノデモ、ソレ程決戰下ニ於テ必要デナイト云フヤウナモノガ非常ニ多クアルト思ヒマス、是等ノモノヲ一時中止シテ、サウシテ非常ニ急設ヲ要スル所ニ轉換利用セラレルト云フヤウナ政府ノ御意見ハナイダラウカ、私共見ル所デハ、鐵道省ノ管内又監督下ノモノデモ、不要不急ノモノガ段々アルト思フノデアリマス、今ヤ御承知ノヤウニ、一般國民ノ家庭ニハ殆ド金屬ト云フモノガナ程ニ回收ヲ致シテ居ル、窓ノ格子カラ空氣拔マ

デ取外シテ之ヲ供出シテ居ルノデアリマスガ、此ノ際サウシテ不要不急ノモノハ一切之ヲ引上ゲマシテ、サウシテ急ヲ要スル所ニ御利用ナサル、之ニ對シテドウ云フ御對策ヲ御立デニナツテ居ラウカ、斯ウ云フコトヲ一應御尋ネ致シタイト思ヒマス、尤モ斯ウシタコトハ非常ナ英斷ヲ以テオヤリニナラナケレバ出來ナイト思ヒマス、既ニ鐵道建設ヲヤツテ、モウ數箇年デ全通スル、斯ウ云フ所デ、實際此ノ戰時下ニ於テ戰力增強ノ爲ニ餘リ必要デナイ、若干ノ必要ガアルガラウガ餘リ大シタ必要ガナイ、斯ウ云フモノガアルト思フ、所ガ其ノ地方ノ人カラ見マス、折角鐵道ガ敷カレテ居ルモノヲ、之ヲ線路ヲ取外サレ、斯ウ云フコトハ忍ビナイモノガアルノデアリマス、ケレドモ之ヲ他ノ事例ニ比較シテ見マス、是ハ忍ビデ載カナケレバイカヌト思ヒマス、既ニ御承知ノヤウニ產業經濟ノ中デモ、時局ト餘リ關係ノナイ產業部面ニ對シマシテハ、其ノ設備モ之ヲ回收シマシテ、サウシテ必要部門ニ屑鐵トシテ轉換シテ居ル部門モアル、是等ト比較シテ御考ヘ下サツタラ、サウシテ大英斷ヲ以テオヤリ下サツタラハ出來ルコトデアラウト思フ、無論其ノ地方ノ人ノ極メテ戰時的ノ御理解ニ俟タナケレバナラヌト思ヒマスルケレドモ、是ハ理解ノ行クコトデアラウト考ヘルノデアリマス、私ハ此ノ際特ニ當局ニ説明ヲ要望致シタイト思ヒマスルノハ、アノ登山鐵道ダトカ、

遊覽ヲ本位ニシテ居ル所ノ「ケーブル・カー」、斯ウ云フモノニ對スル對策デアラウト思フ、是ガ全國ニハ相當ノ量ガアルノデアリマス、是等ハ今日ノ生産ト何ニモ關係ノナイ、寧ロ國民保健、健康ノ方カラ言ヒマスルト、體位向上ノ點カラ言ヒマス、歩イテ登山シタ方ガ宜イ位ナ時ナノデアリマス、斯ウ云フヤウナモノニ對シテハ是亦ソレ等ヲ架設ナサツタ投資家デアルトカ、或ハ其ノ地方ノ方々ニ對シテハ甚ダ御氣ノ毒ダト思ヒマス、併シナガラ是ハ結局戰爭ニ勝ツ爲ニ之ヲ一時提供シマシテ、サウシテ應召ノ形デ是ガ戰力增強ニナルト致シマスルナラバ、甘シテ私ハ是ハ回收ニ應ジテ吳レルト思フノデアリマス、是等ニ對シマシテ御當局ハドウ云フヤウナ御考ヲ持ツテ居ラレラウカ、斯ウ云フコトヲ私ハ御尋ネ致シタイト思ヒマス、之ニ付キマシテハ私カラ申上ゲルマデモナク、既ニ御承知ダト思ヒマスルガ、電力ニ付キマシテモ、是等ニ從事シテ居リマスル所ノ從業者ニ致シマシテモ相當ノ數ガアル、是ガ今日ノ場合何ノ戰力增強ニ關係ガアルカ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ見マシタ時ニ、既ニ御考ヘニナツテ居ルコトハ考ヘマスガ、今後ドウ云フヤウナ對策ガ出來ラウカ、私ハ斯ウ云フコトヲオヤリニナルコトガ國民ノ士氣ニ影響ヲ及ボス所ガ極メテ大デアラウト考ヘルノデアリマス、之ニ對シテ鐵道大臣ノ考ヘ方ヲ一ツ御伺ヒ致シタ

イト思ヒマス

○八田國務大臣

只今逢澤委員ノ御尋ネノ

點、何レモ御尤モナ點バカリデアリヤウニ拜
聽致シマシタ、第一ニ今回ノ地方鐵道買收

以外ニモ同様ノ程度ノ地方鐵道ガ相當アル

ダラウ、是ハ其ノ通りデアリマス、鐵道省

トシマシテハ實ハモット國有ニ之ヲ編入シ

タイ原案ヲ持ツテ居ルノデアリマス、全體

ヲ見透シマシテノ原案ヲ持ツテ居ルノデア

リマスルガ、今回ハ此ノ程度デ全體ノ財政

或ハ交付公債ノ額ト云フヤウナ、色々ノ國

ノ財政ト經濟上ノ影響等ト關係カラ致シマ

シテ、此ノ程度ニ止メタノデアリマス、而

シテ根本的ニ申シマスレバ、モウ私カラ申

上ゲルマデモナク、御承知ノ通り鐵道國有

法ニ、帝國ノ鐵道ハ總テ國有トスト云フノ

ガ原則ニナツテ、是ハ古クカラ決ツテ居ル

根本原則デアリマス、唯但書ガアツテ「但

シ一地方ノ交通ヲ目的トスル鐵道ハ此ノ限

ニ在ラス」ト云フコトニ依リマシテ、地方

鐵道ガ免許サレテ居ル譯デアリマス、隨ヒ

マシテ一地方ノ交通トシテ最初敷設セラレ

タル所ノ地方鐵道モ、段々是ガ時代ヲ經マ

シテ、是ガ成長シテ參リマスルト、自然ニ

是ガ單一地方ニ局限サレタ所ノ鐵道ノ性

質デハナクナツテ參ルノデアリマス、斯様

ナ場合ニ於キマシテハ、是ハ悉ク先ヅ國有

鐵道ニ編入スルノガ當然ノコトデアリマス

ノデ、鐵道省ニ於キマシテハ絶エズ其ノ原

案ヲ以テ、而シテ尙ホ時局ニ應ジテ、其ノ

時々ノ時局ノ最モ要請度ノ強イモノカラ之

ヲ計上シテ、各議會ニ於テ御審議ヲ願ヒ、

御賛同、御協賛ヲ經テ居ルヤウナ次第デア

リマス、隨ヒマシテ只今ノ御説ニ付キマシ

テハ全ク同感デアリマス、出來ルダケ斯様

ナ軍事上、又幹線ノ系路上等ニ於キマシテ
大切ナリト考ヘラレマスモノハ、機ヲ見テ
買收ノ方途ニ出タイト考ヘテ居ルノデアリ
マス

第二ノ、之ニ反シテ建設中ノ線路デモ不

要ノモノガアルデハナイカ、斯ウ云フコト

ニ付キマシテハ、是ハ不要ノモノハ勿論帝

國議會ノ協賛ヲ經テ現ニ建設ニ着手シテ居

リマスモノニハナイノデアリマスガ、併シ

ナガラ斯カル戰時下ニ於キマシテハ、之ヲ

資材、勞務等ノ關係カラ致シマシテ、出來

ルダケ是非ハヤツテ行カナケレバナラ

スト云フ、而モソレガ極ク一年、二年、少

クトモ三年位ノ間ニ完成シ、使用ガ出來ル

ト云フモノヲ目途ト致シマシテ、昨年ノ議

會ニ於キマシテモ、又今度ノ議會ニ於キ

マシテモ此ノ方針ニ基イテ、現在設計畫

ニ既ニ着手シタモノモ皆延期ヲ致シテ居リ

マス、極ク少數ノ線路ガ繼續サレ、中ニハ

寧ロ之ヲ線上ゲテ緊急ニ之ヲ任上ゲル、要

スルニ即效ヲ生ムモノヲ主トシテ捉ヘテ仕

事ヲ致シテ居ルノデアリマス、御覽下サイ

マス、極ク少數アルコトハ御分リニナ

ルト思フノデアリマス、即チ資源開發線、

從來海外ニ依存シテ居リマシタ所ノ「マンガ

ン」デアルトカ、其ノ他今日ノ生産擴充ニ

於テ缺クベカラザルモノヲ當然國內ニ求メ

テ參リマシタノデ、是ガ爲ニ必要ナル資源

開發線ト云フモノニ殆ド限ツテ居ルノデア

リマス、其ノ他ノモノハ殆ド全部延期若シ

クハ中止ヲ致シテ居ルノデアリマス、中ニ

ハモウ直グ僅カニシテ是ガ開通スルト云フ

ヤウナモノニ付キマシテモ、又地方ノ非常

ナ熱烈ナル希望ガアルニ拘ラズ、之ヲ總テ

延期中止致シテ居ルヤウナ譯デアリマスカ

ラ、只今御述ベニナリマシタ通り實行シテ
居ルト云フコトヲ御諒承ヲ願ヒタイト思フ
ノデアリマス、敢テ建設バカリデハナク、

改良ノ施設ニ於キマシテモ、昨日申上ゲマ

シタヤウニ、今回海運ガ陸上ニ轉化シテ參

リマスルコトカラ、輸送ノ質ニ變化ヲ來シ

マシタノデ、總テノ施設ヲ新シイ戰時眼ヲ

以テ再檢討致シマシテ、サウシテ同様ニ中

止若シクハ之ヲ他ニ轉用スルト云フコトヲ、

改良ニ付デモ致シテ居ルヤウナ次第デアリ

マス、中ニハモウ既ニ土工ガ立派ニ出來テ

「レール」サヘ敷ケバ宜イノデアリマスガ、

此ノ一、二年「レール」ヲ敷設セズニ其ノ儘

ニナツテ居ル所ガ全國ニハ相當アルノデア

リマス、更ニ「レール」ハ既ニ敷設サレタ

ガ、開業シテ居ラス線路ガアル、是ハ機關

車ナドノ關係カラサウ云フモノモアリマス、

是ハ地方的ニ見マス、或ハ又他ノ一般ノ

經濟活動カラ見マシテ洵ニ遺憾デアリマス

ガ、之ヲシモ實ハ場合ニ依ルト、其ノ折角

敷イタ「レール」ヲ外シテ、他ニ轉用スルト

云フ計畫ヲ立テ居ルノデアリマス、只今

特ニ御話ノアリマシタ地方ニ對シテハ、洵

ニ氣ノ毒ト云ツテハ適當デハアリマセス、

洵ニ遺憾ニ存ズルノデアリマスガ、此ノ

機會ニ御説ノ通り已ムヲ得ナイト考ヘマシ

テ、斷行スル積リデアリマス

尙ホ御話ノアリマシタ登山鐵道ト云フヤウ

ナモノニ付キマシテモ、是ハモウ數年來實

ハ官民ノ間ニ問題ニナツテ居ル點デアリマ

ス、鐵道省ト致シマシテモ、色々ト前カラ案

ヲ立テテ居ルノデアリマス、既ニ計畫モ立

テテ居リマシタガ、是ハ御承知ノ通り登山

鐵道其ノモノカラ出ル所ノ「レール」トカ、或

ハ機械類トカ云フモノ「トン」敷ハ、其ノ登

山鐵道ノ總建設費ニ對シマシテ極メテ僅カ
ナ部分デアリマス、長イノデモ「キロ」ハ
ナイ、大抵五百「メートル」位ナモノガ普通

ノ登山鐵道デアリマス、隨ヒマシテハ申上

ゲルマデモナク極ク僅カナ「トン」數デアリ

マス、例ヘバ五十「トン」カ百「トン」トカ云

フ程度ノ範圍ヲ出デナイ、然ルニ之ヲ廢メ

サセルコトニナリマス、其ノ營業ヲ停止

スルノデアリマスカラ、或ハ廢止スルノデ

アリマスカラ、之ヲ如何ニ處置スルカト云

フコトガ寧ロ問題デアツタノデアリマシテ、

「トン」五千圓ニモ付クモノモアルノデア

リマス、サウ云フヤウナ譯デ、此ノ登山鐵

道カラ期待スル數量ハ實ハサウ多クアリマ

セス、サウ云フコトデ今日マデ是ガ實行ニ

過去ニ於テハ案ハアリマシタガ、色々其ノ

間ニ研究サレテ居ツテ、其ノ儘ニナツテ居

ルノデアリマスガ、今回此ノ問題ハ、唯其

ノ量ガ少イト云フヤウナ問題デハナク、今

御述ベニナリマシタヤウナ觀點カラ致シマ

シテ、相當數之ヲ取外スコトノ案ガ決定致

シマシテ、既ニ鐵道省ノ手ヲ離レテ居ルヤ

ウナ次第デアリマス、唯之ニ關聯シマシテ

ハ、私カラ御話申上ゲルマデモナク、敢テ

其ノ量ガ少イト云フバカリデナク、神社等

ノ關係モアリ、又其ノ上及ビ下ニ於テ生業

ヲ持ツテ居ル、此ノ爲ニ商賣ヲ致シテ生活

シテ居ル相當ノ人々モアリマスノデ、是等

ノ營業ヲ廢止スルト云フコトニ付キマシテ

ハ、中ニハ相當考慮ヲ致サナケレバナラス

モノモアリマスノデ、相當慎重ニ鐵道省ト

シテハ取扱ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、

今御話ノ中ニソレハアツタト考ヘマスノデ、

是モ御同様ニ、御説ノ通り考ヘテ居ルノデ、

又既ニ鐵道省ノ手ヲ離レテ居ルト云フコト

ヲ御諒承願ヒタイト存ズルデアリマス
又ソレニ關聯シマシテ、鐵道省自體カラモ
事變以來毎年相當數ノ回收、所謂屑鐵回收
及ビ特別回收トシテ、數字ハ申上ダマセヌ
ガ、相當量ガ供出サレテ居リマス、又地方
鐵道ノ中デモ或ハ複線ノ一部ヲ外シテ、之
ヲ軍需工場ノ引込線ニ利用スルコト云フヤウ
ナ所ニモ、十分活用スルコトニ致シテ居ル
ヤウナ次第デアリマス、之ヲ要スルニ只今
御述ベニナリマシタルコトハ、大體ニ於キマ
シテ鐵道省ト致シマシテモ全ク御同感デア
リマシテ、其ノヤウニ計畫ヲ立テテ進ンデ
居ルト云フコトヲ御諒承願ヒタイト思ヒマ
ス

○逢澤委員 周到ナル御注意ノ下ニ色々戰
時對策ノ考究ガ出來テ居ルコトヲ私感謝致
シマス、只今私鐵ノ買収ニ付キマシテ色々
ノ事情ヲ承知シテ居ル、又色々ノ計畫ノ下
ニ之ヲヤツテ居ル、要スルニ其要請度ニ依
ツテ出發シテ居ルト云フ御話ガアリマシタ
ガ、私ハ之ヲ具體的ニ一ツ述ベテ見タイト
思フノデアリマス、中國方面ニ於キマスル
所ノ相當古イ歴史ヲ持ツテ居リマス明治三
十何年ニ建設致シマシテ、地方デハ之ヲ痛
ト稱シテ居リマス、斯ウシタ古イ時ニコン
ナ鐵道ガ出來タ爲ニ、其ノ地方民ハ非常ニ
惠マレナイ交通ニ接シテ居ル、斯ウ云フコト
ヲ承知シテ居ル、若シ斯ウ云フヤウナ鐵道
ガ明治三十二、三年頃ニ敷設シテナカウタ
ナラバ、立派ナ鐵道ガ鐵道省ノ手ニ依ツテ
建設サレタ筈デアル、餘リニ早く出來タ爲
ニ地方民ハ非常ニ迷惑ヲシテ居ル、是ガ地
方ノ一般ノ聲ナノデアリマス、是ガアル爲
ニ地方ノ開發ガ出來ナイ、日本一番ノ惡イ
鐵道、隨テ速度ガノロク、設備ハ惡ク、運

賃ハ高く、回数ハ少イ、惡イ條件ガ總テ整ツ
テ居ル、併シ私ハ此ノ惡イモノヲ鐵道省ニ
買ツテ載キタイトハ決シテ申サナイ、先程
大臣カラ其ノ要請度ヲ見テ買上ダグルノダ
ト云フ御話ガアリマシタガ、此ノ鐵道ノ沿
線ハ既ニ能ク御承知ダと思フノデアリマ
スガ、現下ノ必要資源デアアル地下資源ノ非
常ニ豐富ナ土地デアリマス、近クハ帝國鐵
發ニ於キマシテモ其ノ地方ニ輸送ガ困難
ナ爲ニ濕式精鍊所ヲ開始致シマシタ、サウ
シテ重量ヲ輕クシテ運搬シヨウ、斯ウ云フ
ヤウナ設備モヤツテ居リマス、其ノ他林產
資源ニ致シマシテモ、農產資源ニ致シマシ
テモ、非常ニ豐富ナ資源ヲ有シテ居ル、而
モ其ノ位置タルヤ伯備線、因美線、山陽

線、其ノ中ニ一ツノ古イ鐵道ガ頑張ツテ居
ル爲ニ、凡ユル運輸統制ノ阻碍ヲ致シテ居
ル、私ハ色々ノ機會ニ買収問題ガ起ツテ居
ルコトモ承知致シテ居ルノデアリマス、
今日此ノ際色々ノコトヲ聞イテ居リマス、
併シナガラソレハ論ズル時デハナイト思ヒ
マス、此ノ際此ノ決戰態勢下ニ於キマシテ、
斯ウシタモノヲ御買収下サツテ、サウシテ
之ニ改善ヲ加ヘマシテ、其ノ地方ノ目下戰
争ニ最モ必要ナ資源、林產物ニ致シマシテ
モ、鑛產資源ニ致シマシテモ、是等ノモノ
ヲ適當ナ所ニ輸送スルヤウニオヤリ下サル
事柄ガ、私ハ極メテ緊急ナ要事デハナイカ
ト思フノデアリマス、今マデハ、具體的
ナ話ハ私ハ申シマセヌガ、兎角ノ議論ガア
ツタノデアリマス、此ノ際欣然トシテ
一ツ資源開發ノ爲ニ、サウシテ戰時態勢ノ
爲ニ、買収ヲスル、斯ウ云フヤウナ御考ヘ
ガアルカナイカト云フコトヲ一ツ御尋ネシ
テ見タイト思ヒマス

○八田國務大臣 只今例ヲ擧ゲラレマシタ
中國ノ鐵道ニ付キマシテハ、御話ノ通り大
體私共ノ考ヘモ國有鐵道トシテ編入スベキ
理由ニ於キマシテ、今回提出シテ居リマス
ル諸鐵道ニ、殆ド匹敵スル所ノ、少クトモ
之ニ引續ク所ノ立派ナ理由ヲ持ツテ居ルト
考ヘテ居リマス、若シ經濟竝ニ財政ノ上ニ
於キマシテ許サレルナラバ、相當考ヘラレ
ルベキ線デアアルト申上ゲテ差支ヘナイト考
ヘルノデアリマス、私共ハ他ノ事情ノ許ス
限リニ於キマシテ、斯カル種類、程度ノ地
方鐵道ハ今後ニ於キマシテモ成ベク早キ機
會ニ於テ國有ニ編入致シタイト考ヘテ居ル
次第デアリマス

○逢澤委員 先日ノ本會議ニ於キマシテモ
賀屋大藏大臣ハ戰時下必要ナモノデアアルナ
ラバ、何程ノ公債ヲ發行シテモソレヲヤラ
ナケレバイカス、併シナガラ必要デナイモ
ノハ一錢ノ金ト雖モ出シテハイカナイ、尤
モナ御話ダト考ヘルノデアリマス、是等ノ
鐵道買収ニ付キマシテモ、色々利害ハ反ス
ルカモ知レマセヌ、ケレドモ國家ノ大局カ
ラ御考ヘ下サル時、色々事情モアリマセウ、
公債發行ノ事情モアリマセウ、經濟界ノ事
情モアリマセウガ、必要ト認メラレマシタ
ナラバ、大膽ニ一ツ國營ニオヤリ下サツテ、
地方ニ出來ル所ノ資源ヲ最モ迅速ニ敏活ニ
之ヲ御利用下サル事柄ガ、ヨリ好イ戰果ヲ
收メルノデハナイカト心得ルノデアリマス、
是ハ特ニ最近ノ機會ニ於キマシテ一ツ御買
取ヲ下サルコトヲ御願ヒ致シテ置キタイト
思ヒマス

來旅客本位ノ鐵道デアツテ、ソレヲ俄カニ
重量貨物ヲ輸送スルノニハ非常ニ脆弱ナ線
デアアル、而モ其ノ中ニハ隘路ノ一ニ三ガアツ
テ、ソレ等ノ改良ヲ即刻實施致シテ居ル、
而モ其ノ隘路ハ具體的ニ柳井線トカ、或ハ
吳線ナドハ急速ニ改良工事ヲヤルノダ、斯
ウ云フ御話ガアツタノデアリマスガ、御説
ノ通りダト思ヒマス併シナガラ私ハソレ以
外ニモマダアルノデハナイカト云フコトヲ
考ヘルノデアリマス、御承知ノ山陽線ハ餘
リ勾配ノナイ線ナノデアリマスガ、併シナ
ガラ岡山縣ト兵庫縣トノ境ニアアル三石ハ最
モ難險ナ所ナノデアリマス、昨日ノ御話ニ
ハ此ノ三石ノ御言葉ガナカウタコトヲ殘念
ニ思ツテ居ルノデアリマスガ、貨物ノ輸送上
私共ノ承知シテ居リマス範圍デハ、是ガ非
常ナ隘路ヲナシテ居ルト云フコトヲ聞キ及
ンデ居ルノデアリマス、此ノ隘路ヲ如何ニシ
テ改良スルカト云フコトニ付キマシテハ、私ガ
申上ダルマデモナク色々御計畫ヲナスツテ
居ラレマスノデ能ク御承知デアアルト思ヒマ
スガ、之ニハ既ニ赤穂線ト云フモノハ其ノ難
工事ノ殆ドハ完成シテ居ルノデアリマス、
唯一部平坦ノ所ヲヤレバ直グ使ヘルト云フ
事實ガアルノデアリマス、私ハ昨日モ申上
ガマシタ鐵道省ノ戰時對策ト云フモノガ、
貨車ヤ機關車ヲ拵ヘルト同時ニ、線路ヲ増
設スルコト云フコトモ戰時對策デハナイカト
思フ、而モ是ガ二十年、三十年、五十年、百
年ヲ目的トシタ線路デナクテ宜イデヤナ
イカ、此ノ戰時輸送ヲ遺憾ナクヤルノニハ
假ノ線ヲ引イテモ宜イ、斯ウ云フコトモ一
應考ヘラレルノデアリマス、山ヲブチ抜
イテ行クノハ中々ムツカシイガ、平坦ナ所
ニ線路ヲ敷クコトハ二箇月、三箇月デモ出

次ニ昨日施設局長カラ御話ガアツタノデ
アリマス、山陽線ノ戰時對策ニ付キマ
シテ色々御説明ヲ得マシタガ、山陽線ハ從
來旅客本位ノ鐵道デアツテ、ソレヲ俄カニ
重量貨物ヲ輸送スルノニハ非常ニ脆弱ナ線
デアアル、而モ其ノ中ニハ隘路ノ一ニ三ガアツ
テ、ソレ等ノ改良ヲ即刻實施致シテ居ル、
而モ其ノ隘路ハ具體的ニ柳井線トカ、或ハ
吳線ナドハ急速ニ改良工事ヲヤルノダ、斯
ウ云フ御話ガアツタノデアリマスガ、御説
ノ通りダト思ヒマス併シナガラ私ハソレ以
外ニモマダアルノデハナイカト云フコトヲ
考ヘルノデアリマス、御承知ノ山陽線ハ餘
リ勾配ノナイ線ナノデアリマスガ、併シナ
ガラ岡山縣ト兵庫縣トノ境ニアアル三石ハ最
モ難險ナ所ナノデアリマス、昨日ノ御話ニ
ハ此ノ三石ノ御言葉ガナカウタコトヲ殘念
ニ思ツテ居ルノデアリマスガ、貨物ノ輸送上
私共ノ承知シテ居リマス範圍デハ、是ガ非
常ナ隘路ヲナシテ居ルト云フコトヲ聞キ及
ンデ居ルノデアリマス、此ノ隘路ヲ如何ニシ
テ改良スルカト云フコトニ付キマシテハ、私ガ
申上ダルマデモナク色々御計畫ヲナスツテ
居ラレマスノデ能ク御承知デアアルト思ヒマ
スガ、之ニハ既ニ赤穂線ト云フモノハ其ノ難
工事ノ殆ドハ完成シテ居ルノデアリマス、
唯一部平坦ノ所ヲヤレバ直グ使ヘルト云フ
事實ガアルノデアリマス、私ハ昨日モ申上
ガマシタ鐵道省ノ戰時對策ト云フモノガ、
貨車ヤ機關車ヲ拵ヘルト同時ニ、線路ヲ増
設スルコト云フコトモ戰時對策デハナイカト
思フ、而モ是ガ二十年、三十年、五十年、百
年ヲ目的トシタ線路デナクテ宜イデヤナ
イカ、此ノ戰時輸送ヲ遺憾ナクヤルノニハ
假ノ線ヲ引イテモ宜イ、斯ウ云フコトモ一
應考ヘラレルノデアリマス、山ヲブチ抜
イテ行クノハ中々ムツカシイガ、平坦ナ所
ニ線路ヲ敷クコトハ二箇月、三箇月デモ出

來ル仕事アリマス、サウ云フヤウナ應急ノ對策ヲヤレル御意思ガアルカナイカト云フコトヲ昨日御尋ネ致シタノデアリマスガ、此ノ點ニ付テハ御回答ガナカッタノデアリマス、私ハ此ノ三石ノ隘路ヲ打開シテ行クニハ、斯ウシタ方面ノ赤穂線ヲ急速ニオヤリ下サリ、難カシイ所ハ迂回シテオヤリ下サル、斯ウ云フコトニスレバ直グ解決スル問題ハナイカト考ヘル、隨テ是ハ餘程英斷ガ要ルト思ヒマス、所謂此ノ戰爭ノ時ダテ使フノダ、斯ウ云フヤウナ積リデオヤリ下サルコトモ一ツノ方法デハナイカト云フコトモ一應ハ考ヘルノデアリマスガ、サウ云フ所謂戰時對策トシテノ建設ノ御考ヘガアルカナイカト云フコトヲ御尋ネシテ見タイト思ヒマス

○小村(衆)政府委員 只今山陽線ノ隘路ノ問題、ソレヲ救フ爲ニ赤穂線ヲ速成スルト云フ御話デアリマス、御話ノ通り此ノ三石ト申シマス所ハ、山陽ノ中ノ一ツノ急勾配區間デアリマス、併シナガラ山陽線ト致シマシテハ、此ノ次ノ最モヒドイ所ハ何處カト申シマス、必ズシモ三石デハナイノデアリマス、輸送ニ一番困難ヲ致シテ居リマスノハ寧ロ鷹取ヨリ明石附近ト云フノガ其ノ次デアリマス、サウシテ只今ノ赤穂線ヲ急速ニ完成シテ繋イデシマヘバ宜シイト云フ御話デアリマス、御承知ノ通り赤穂線ハ兵庫縣側カラ只今ノ所約二十「キロ」程工事ヲ致シテ居リマス、其ノ先マダ相當ノ延長ヲ殘シテ居リマス、急速ニ之ヲ敷設スルト云フコトハ容易ナ業デナイト考ヘマス、地形ニ於キマシテモ岡山縣ノ方ハ平坦デアリマスガ、マダ相當地形ノ惡イ所ヲ殘シテ居リマス、資材其ノ他ノ點カラ申シマ

シテモ、急速ニ之ヲ實施スルト云フコトハ此ノ次ノ段階デハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス

○逢澤委員 技術的ニ見レバサウ云フヤウニ考ヘラレルト思ヒマス、併シナガラ私ノ申上グルノハ所謂鐵道戰時對策トシテノ立場カラ御考ヘナサルト云フ御考ヘハナイカト云フコトヲ御尋ネ致シテ居ルノデアリマス、普通ノ考ヘヲ以テスレバ御話ノ通りダト思ヒマス、若干迂迴シテモ平坦路ダケ一時通ラス、サウシテ將來ノコトハ將來トシテ、一時的ニ斯ウ云フヤウナ方法デアル、斯ウ云フヤウナ御考ヘガアルカナイカ、私共ハ若シ困難アルトスレバ、サウ云フヤウナ方法モ一ツノ方法デハナイカ、是ハ唯赤穂線ニハ限ラヌト思ヒマス、臨時的ニ線路ヲ敷設シテ、隘路ヲ開設スルト云フコトハ何處デモザルコトダト思ヒマス、特ニ赤穂線ナドニ付キマシテ、サウ云フヤウナ御考ヘガアルカナイカト云フコトヲ御尋ネ致シマス

○小林(衆)政府委員 只今ノ戰時ダケ使ヘバ宜シイト云フ線路ヲ作ル意思アリヤ否ヤト云フ問題デアリマス、他ノ今後實施致シマスル建設線ニ於キマシテハ、現ニサウ云フ方針ヲ採リマシテ設計其ノ他ヲ進メテ居ル次第デアリマス、只今大臣カラモ御話ノアリマシタヤウニ、非常ニ限ラレタル數線ヲ早急ニ完成致シマシテ、兎ニ角列車ヲ通スト云フコトヲ目標ト致シマシテ、全國ノ建設線ヲ進メテ居ル次第デアリマス、ノデ、仰セラレマシタ御趣旨ト全ク同ジ考ヘデヤツテ居ルト御承知願ヒタイト思ヒマス

○逢澤委員 有難ウゴザイマシタ、私ノ質問ハ終リマシタ

○高島委員 高島龜太郎君 點ニ付テ御尋ネシテ見タイト思ヒマス、近頃物資輸送ガ陸運本位ニナリマシタ關係上、申スマデモナク鐵道ノ重要性ト云フモノハ愈々増シテ來テ居ルノデアリマス、然ルニ何レカト申シマス、鐵道建設ノ方ニ付キマシテハ、先刻モ大臣カラ御話ノアリマシタヤウニ、昨年來各所ニ打切ノ狀態ノ場所ガ出來マシテ、以前ニ比ベマスト線路ヲ延長シテ行クコトニ付テハ大分遲レテ來タヤウニ考ヘルノデアリマス、總テノコトガ重點主義ノ今日デアリマス、單ニ鐵道ノ部門ノミヲ以テ考ヘルト云フコトハ困難カモ知レマセヌケレドモ、近頃船舶不足ノ聲ガ如何ニモ高イ結果、世間ノ關心モ總テ造船ノ一方ニノミ向ケラレ、又政府當局モ隨テ造船タスト云フ風ニ參リマス爲ニ、當ノ鐵道當局スラ線路ノ建設ニハ稍々御遠慮勝チデアアルノデハナイカト察セラレルノデアリマス、是ハ一面國策ノ重點カラ見マシテ、サモアルベキコトデアリマス、又主トシテ日本内地ニ於ケル鐵道ノ建設ト云フモノガ、昨日年來ノ情勢デアリキマスナラバ、鐵道擴充ノ上ニ付テ輸送力ヲ増加シテ行ク上ニ付テ、甚ダ憂フベキモノデハナイカト思フノデアリマス、固ヨリ比較的不急ノ鐵道ト云フモノガ、若シアリトシマスナラバ、例ヘバ眞ニ遊覽ノ目的ノミデ、出來テ居ル鐵道デアルトカ、極ク一地方ダケノ交通ニシカ用ヲ爲サナイト云フヤウナモノガアリトスルナラバ、ソレハ別デアリマスガ、其ノ他ノ從來御計畫ニナツテ居リマス建設線ハ、其ノ地方ハ勿論デアリマス、國全體トシテ考ヘマシテモ、産業

開發ノ上カラ資材ヲ輸送スル上カラ見テ、何レモ重要性ノアルモノト私共ハ見テ居ルノデアリマス、殊ニ建設中ノモノ及ビ打切狀態ニナツテ居リマスモノデモ、若シ之ヲ開發シマスナラバ、直接軍需資材タル「マンガン」等ノ鑛石、或ハ用材ナドノ輸送ガ著シク良クナリマシテ、其ノ需要ヲ充タスコトガ出來ル、又生活必需品タル木炭、米ナドノ輸送モ著シク改善サレマシテ、輸送ノ效果ヲ擧ゲルコトガ的確デアルト見ラレニモ拘ラズ、只今申上ゲマサルヤウナ事情ノ下ニ線路ヲ重ネラレテ居ルコトハ、輸送力全體ノ増強ノ上ニ付テ、私共ハ遺憾ニ存ジテ居ルノデアリマス、先刻御説明モアツタヤウデアリマスガ、此ノ觀點カラ申シマス、今少シ積極的ニ鐵道當局トシテハ建設ノ部面ヲ活用セラレルトト望ミタイノデアリマス、此ノ點ニ付テハドウ御考ヘニナツテ居リマスルカ、例ヘバ打切ラレタル線ハ約何箇所デアリ、若シ御差支ガアリマセヌナラバ、鐵道當局ガ此ノ際必要ナリト信ジテ工事ヲ進メラレテ居ル、建設ヲシテ行カウトシテ居ラレハドウ云フ場所デアアルカト云フコトヲ御示シテ願ヒタイノデアリマス、サウ云フ主トシテ輸送力ヲ增強シテ行クト云フ觀點カラ考ヘマス、或ル地點ト或ル地點トノ間ニ鐵道ガ既ニ開通ヲシテ居テ、僅カノ部分ノ建設ヲ打切ラレテ居ル爲ニ、全ク片輪ノ狀態ニナツテ、本當ニ鐵道ノ機能ヲ發揮シ得ザル如キ場所ガ何箇所カアルノデハナイカト存ジマス、例ヘバ私共ノ最モ能ク知ツテ居リマス範圍カラ申シマシテモ、愛媛縣ノ吉野生カラ高知縣ノ窪川ニ至ル線ノ如キハ、豫テヨリ四國循環鐵道ノ一部デアリマシテ、是ダケガ出來マスルト四國四縣ガ鐵道ガ循環致シマシテ

開發ノ上カラ資材ヲ輸送スル上カラ見テ、何レモ重要性ノアルモノト私共ハ見テ居ルノデアリマス、殊ニ建設中ノモノ及ビ打切狀態ニナツテ居リマスモノデモ、若シ之ヲ開發シマスナラバ、直接軍需資材タル「マンガン」等ノ鑛石、或ハ用材ナドノ輸送ガ著シク良クナリマシテ、其ノ需要ヲ充タスコトガ出來ル、又生活必需品タル木炭、米ナドノ輸送モ著シク改善サレマシテ、輸送ノ效果ヲ擧ゲルコトガ的確デアルト見ラレニモ拘ラズ、只今申上ゲマサルヤウナ事情ノ下ニ線路ヲ重ネラレテ居ルコトハ、輸送力全體ノ増強ノ上ニ付テ、私共ハ遺憾ニ存ジテ居ルノデアリマス、先刻御説明モアツタヤウデアリマスガ、此ノ觀點カラ申シマス、今少シ積極的ニ鐵道當局トシテハ建設ノ部面ヲ活用セラレルトト望ミタイノデアリマス、此ノ點ニ付テハドウ御考ヘニナツテ居リマスルカ、例ヘバ打切ラレタル線ハ約何箇所デアリ、若シ御差支ガアリマセヌナラバ、鐵道當局ガ此ノ際必要ナリト信ジテ工事ヲ進メラレテ居ル、建設ヲシテ行カウトシテ居ラレハドウ云フ場所デアアルカト云フコトヲ御示シテ願ヒタイノデアリマス、サウ云フ主トシテ輸送力ヲ增強シテ行クト云フ觀點カラ考ヘマス、或ル地點ト或ル地點トノ間ニ鐵道ガ既ニ開通ヲシテ居テ、僅カノ部分ノ建設ヲ打切ラレテ居ル爲ニ、全ク片輪ノ狀態ニナツテ、本當ニ鐵道ノ機能ヲ發揮シ得ザル如キ場所ガ何箇所カアルノデハナイカト存ジマス、例ヘバ私共ノ最モ能ク知ツテ居リマス範圍カラ申シマシテモ、愛媛縣ノ吉野生カラ高知縣ノ窪川ニ至ル線ノ如キハ、豫テヨリ四國循環鐵道ノ一部デアリマシテ、是ダケガ出來マスルト四國四縣ガ鐵道ガ循環致シマシテ

環狀狀態ニナルノデアリマスガ、先刻來御説明ニアリマシヤウナ考ヘノ下デスカ、順次線延ニナツテ居ル、昭和十二年頃カラ着工スベキモノガ十六年ニナリ、又十九年ニナツテ居リマシテ、最早着工シヨウト云フ時期ニナルト線延ニナル、是デハ何時マデ經ツテモ實現ガシニキト云フヤウナコトデ、非常ニ其ノ地方民カラ申スナラバ遺憾ト致シテ居ルノデアリマスケレドモ、是ハ單ニ地方民ノ要望ノ如何ト云フコトヨリハ、四國ノ鐵道全體ノ輸送力ヲ増加スル上ニ於テ、是非御考ヘヲ願ハナケレバナラスモノデハナイカト存ズルノデアリマス、又更ニ適切ナ例ト致シマシテハ、愛媛縣ノ八幡濱カラ卯之町ニ至ル僅カ十「キロ」餘リノ所ノ如キハ、ソレヨリ先ガ既ニ省線ガ運轉ヲ致シテ居ルニ拘ラズ、工事ノ遅レテ居ルガ爲ニ僅カノ繋リガ出來マセヌノデ、目下生活必需品デアアル木炭トカ、或ハ木材ト云フヤウナモノガ、著シク堆積シテ居ル、都會ノ地ニハ木炭不足ノ聲ガ現實ニ喧シ、是程困ツテ居ルニ拘ラズ、生産地ニハ多量ノ品ガ停滯シテ居ル、僅カノ鐵道ガ開通ヲスルナラバ立ドコロニ是等ヲ緩和融通シ得ルト云フ情勢ニアルノデアリマス、サウ云フ事情ノモノガ全國ニハ幾箇所モ生ジテ居ルデハナイカト思フノデアリマス、之ニ付テハ今一段ト積極的ニ建設ヲ促進サレマシテ、少クトモ軍需資材ノ輸送ト、サウ云フ直接軍需ニ關係ノアル物資ノ開發ニ役立ツ線ニ於キマシテハ、萬障ヲ排シテ建設ヲサレル必要ガアルノデハナイカト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ他ノ委員カラ御尋ネガアツタコトデアリマスケレドモ、今一應當局ノ御所見ヲ承ハリタイノデ

アリマス

○八田國務大臣 私ヨリ一寸簡單ニ申上ゲテ、政府委員ヨリ線路ノ計畫等ニ付キマシテ申上ゲタイト思ヒマス、今回ノ豫算又前年度ノ豫算ニ於キマシテモ、御話ノ如ク建設線ハ殆ド打切ラレテ居ルト云フコトハ事實デアリマス、ソコデ是ハ私共ノ立場カラ申シマシテモ、實ハ非常ニ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマス、殊ニ自動車、詰リ貨物自動車デアルトカ、或ハ旅客自動車トカ云フヤウナモノガ、一方ニ於テ其ノ輸送力ガ増加セラレナイノミナラズ、寧ろ場所ニ依リマシテハ是ガ段々ト減ツテ居ルト云フヤウナ場所モアリマスノデ、地方ノ産業ノ開發、或ハソレガ爲ニ必要ナル人ノ動キト云フモノニ付キマシテハ、相當不便ヲ忍ビ戴イテ居ルト云フコトニ付キマシテ、洵ニ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマス、又今御話ガアリマシタガ、ドウシテモ鐵道デナケレバ出テ來ナイ資源ガ相當アルノデアリマス、例ヘバ戰時下必要ナル重要地下資源ト云フヤウナモノ、或ハ奥地ニ於ケル所ノ木材或ハ木炭ト云フヤウナモノハ、ドウシテモ鐵道ガ敷設サレナイト、中々道路等ガ不完備デアアル爲ニ輸送ハ出來ナイ、隨テ今日必要ナル物資デモ若シ既ニ其ノ地方ニ鐵道ガ敷設サレテ居ツタナラバ、今日ノ此ノ戰時下ニ於テ重要生産並ニ國民ノ生活上ニモット多クノ效果ヲ現ハシテ居ルト私共ハ思フノデアリマス、サウ云フ關係カラ將來ヲ達觀致シマスルト、將來ニ向ツテ又同様ノ感ジヲ持ツノデアリマス、許サレルナラバ、私共ト致シマシテモ、是等ノ線路ハ速カニ進メタイノデアリマスルガ、先程モ申述ベマシタル通り、戰時下ニ於ケル資材、勞務等ノ關係カラ、ヨ

リ直接戰ノ上ニ於テ必要ナル方面ニ振向ケナケレバナラス現狀ニ於キマシテ、之ヲ線延ベ若シクハ中止スルコトハ已ムヲ得ナイコトデアリマスルガ、併シナガラ其ノ許サレル時期ノ到來致シマスル限り、成ベク早ク是等ハ線路上ゲテ、之ヲ計畫以上ニ遂行致シタイ、又我が國ノ今後ノ國力發展ノ點カラ見マシテモ當然サウナケレバナラスト私ハ考ヘル、詰リ伸ビンガ爲メ一時忍ブト云フコトニ私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、地方ニ於ケル不便、又國內ノ開發、或ハ經濟發展ノ上ニ於テ、洵ニ此ノ點ハ遺憾ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、細カイ具體的ノ問題ニ付キマシテハ政府委員ヨリ御答ヘ申上ゲタイト思ヒマス

○小林紫政府委員 私ヨリ十八年度ドウ云フ方針建設ヲシテ居ルカト云フコトニ付キマシテ簡單ニ申上ゲマス、現在議會ノ御協賛ヲ得マシテ建設中ノ線路ト云フノガ四十七線アルノデアリマス、其ノ中大部分ハ中止或ハ線延ヲ致シマシテ、十七線ダケ來年度ノ豫算ニ載ツテ居リマス、十七線ノ中、特ニ早急完成ヲ致シマスル線ガ又七線アリマス、此ノ全體ヲ申上ゲルコトハ大變デアリマスルガ、ドウ云フ線ガアルカト云フ御尋ネデアリマシタノデ、其ノ中主ナルモノダケヲ御參考マデニ申上ゲマス、北海道ニ於キマシテ戸井線、ソレカラ福山線、邊富内線、松前線、此ノ四線デアリマス、本州ニ參リマシテ小本線、釜石線、吾妻線、篠山線、越美線、赤穂線、次ニ四國ニ於キマシテハ只今御話ノ宇和島線、九州ニ於キマシテハ伊佐線、矢部線、斯様ナ程度ノ路線デアリマス、大體十八年度ニ於キマシテハサウ云フ路線ニ付キマシテ急速實施ヲ致

シ、或ハ工事ヲ繼續シテ參ルト云フコトニ致シテ居リマス

○高島委員 大變詳細ニ十八年度ニ實際ニ建設シヨウト云フ線ヲ御示シ下サイマシテ、其ノ點能ク分ツタ譯デアリマスルガ、從來斯ウ云フ線ヲヤツテ行カレマスル上ニ付テ動モスレバ障礙ヲ生ズルコトハ、資材ト勞力ノ點デアリマシテ、特ニ資材ノ不足ノ爲ニ實現ヲ見ザルコトガ時々アルノデハナイカト思フノデアリマス、以前デアリマシタナラバ、豫算ガ決マリマシタナラバ工事ハ出來ルニ決マツタモノデアリマスケレドモ、近頃ハ物資ノ關係上、豫算ガアツテモ工事ヲ施行スルコトガ出來ナイト云フ場面ヲ時生ジテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマス、之ニ付テハ是非當局ノ一段ノ御努力ヲ俟チマシテ、豫算ノ通過シテ居ル分ハドウデモ實行ノ出來ルヤウニ御運ビヲ願ハナケレバナラスノデアリマスガ、一面又斯ウ云フ線路ノ關係地方カラ申シマスルト、ソレニモ増シテ切望ヲシテ居ル所以デアリマスルカラ、假ニ勞力ガ不足ノ爲ニ工事ガ捗ラスト言ヘバ、勞力ハ奉仕的ニ相當ノ人數ヲ供出シテ工事ヲ助ケテ行クト云フ熱意ヲ持ツテ居ルモノト思フノデアリマス、又鐵道不足スルト云フヤウナコトハ、最モ是ハ重要ナコトデアリマスルガ、鐵道省自體デスラ屑鐵ヲ多量ニ供出スルト云フ程ノ熱意ヲ以テ、國策ニ順應シテ居ラレマス以上ハ、關係地方民トシテモ、亦ソレ以上ニ鐵ノ供出ニ付テハ一段ト努力ヲシナケレバナラスト思フノデアリマス、是ハ全國的ニ鐵鋼等ハ御承知ノ如ク供出ヲ致シテ居リマシテ、例ヘバ門ノ扉ヲ外シ、或ハ帽子掛ノ如キ細カイモノマデモ出シテ居ルノデアリマスカラ、一應

最早ソレ以上餘力ハナイ筈デアリマスル
ガ、併シ又物ニハ緩急ノ度ガアリマシテ、
國策ニ應ジテ鐵ヲ供出スルト云フ以上ニ、
其ノ關係地區ニ於ケル線路ノ建設ノ爲ニハ、
今一層身ノ皮ヲ剥イデ出サウ、鍋釜ヲ出シ
テモ宜シイ、日常ノ手焙リノ火鉢ヲ出シテ
モ宜シイト云フヤウナ熱意ヲ持ツテ居ル譯
デアリマス、當局ニ於テハ斯ウ云フ熱望ノ
アルコトヲ御察シノ上デ、鐵道省自體トシ
デモ鐵ヲ捻出ニ御骨折ヲ願フト共ニ、若シ
サウ云フコトガ許サレルト云フコトデアリ
マスルナラバ、進ンデヨリ以上地方カラモ
鐵ヲ供出セシムルト云フコトニ方法ヲ立テ
ラレテハ如何ナモノデアアルカト思フノデア
リマス、何カ是等ノ點ニ付テ、要スルニ餘
リニ鐵不足ト云フ聲ガ聳々ト各部面ニ響イ
テ居リマスル爲ニ、平生ト違ツテココマデ
考ヘネバナラヌ事柄ガ出來シハセヌカ、今
後鐵道計畫ヲ重點主義カラ今御説明ニナリ
マシタ如キ路線ヲ建設シテ行カレル上ニ於
テモ、實際ノ問題トシテハ出會ハセネバナ
ラヌコトデアナイカト考ヘマスノデ、之ニ
對スル御用意ノ程ヲ承ツテ置キタイト思フ
ノデアリマス

○八田國務大臣 只今御話ノ鐵ノ供出ノ問
題デアリマスルガ、先程申上ゲマシタヤウ
ニ、數字ハ申シニクイノデアリマシテ申上
ゲマセヌガ、相當ノ數デアアル、ソレヲ鐵道
カラハ出シテ居ル、而モ鐵道省ニ關スル限
リニ於キマシテ事變前ヨリモ鐵ノ使ヒ方ハ
少イノデアリマス、而モ供出ハ相當致シテ
居ル、サウシテ流用スベキモノハ、是モ先
程申上ゲマシタ通り、「レール」デアリマセ
ウガ、上屋ノ鐵骨デアリマセウガ、總デ之
ヲ計畫サレマシタ施設ソレニ流用スルト云

フコトニ、凡ユル格段ノ手段ヲ講ジテ參ツ
テ居ルノデアリマス、十八年度ニ於キマシ
テハ、特ニ其ノ度ガ強イコトモ、昨日申上
ゲタヤウナ次第デアリマス、ソコデサウ云
フ風ニシテ色々計畫ヲ立テマシタノガ、建
設線ニ付キマシテハ、先程政府委員ヨリ申
上ゲタヤウナ程度シカイクスノデアリマ
ス、サウシテ民間地方カラ今日マデモ相當
多數ノ回收ニ對シマシテ供出ガアルコトモ
私共ハ能ク知ツテ居ルノデアリマス、是等
ハ直接鐵道省ニ參ル譯デハゴザイマセヌ
ガ、ソレガ集ツテ、サウシテソレガ更ニソ
レゾレノ工作ヲ經テ又鐵道ノ「レール」トナ
ツテ、或ハ鐵骨トナツテ配給サレテ參ル次
第デアリマスカラ、今後トモ地方ニ於カレ
マシテハ鐵鋼ノ屑、或ハ必要ナモノデモ進
ンデ供出サレルト云フコトニ付キマシテハ、
鐵道省トシテ洵ニ有難ク存ジテ居ル次第デ
アリマス、過去ニ於テモ相當努力セラレテ
居ルコトニ對シテ、私共鐵道省ト云フ鐵ヲ
餘計使フ所ノ一員ト致シマシテ、感謝ノ意
ヲ表スル次第デアリマス

○高島委員 私人質問ハ此ノ邊ニ致シテ置
キマス
○横川委員長 南郷武夫君
○南郷委員 私人極ク簡單ナ質問デアリマ
スガ、北海道外十一ノ鐵道ヲ買收スルニ付
キマシテハ、其ノ趣旨ガ輸送力ノ強化ニア
ルト云フコトデアリマス、就キマシテハ私
鐵ヲ國鐵ニ買收スルコトニ依リマシテ、貨
物ノ輸送能率ガドノ位上ルモノデアアルカト
云フコトガ一ツ、ソレカラモウ一ツハ豫期ノ
能率ヲ擧ゲラルルマデニ機關車並ニ車輛、
其ノ他路線ノ改良、サウ云フコトヲスルノ
ニ幾ラノ金ガ要ルノデアアルカト云フ點

モウ一ツ御尋ネ致シタイコトハ、只今大臣
ノ御話ニ依リマス、本年御買上ゲニナルヤウ
ナ路線ハ、外ニモマダ相當アル、サウシテ鐵道
省トシテハ今後トモ成ベクサウ云フ路線ヲ
國鐵ニ編入シテ行キタイ、斯ウ云フヤウナ御
意思ノヤウデアリマス、サウシマスト相當ニ
多額ノ買收費ガ要リ、又改良費ガ要ル、斯ウ
云フコトニナルノハ分ツテ居リマス、又一
方考ヘ様ニ依リマシテハ、私鐵ニハ相當ニ
國鐵ニ買收シテ貫ヒタイト云フ路線ハ多イ
ト思フ、而モ國トシテハソレヲ片ツ端カラ買
ツテ行クト云フコトハ、鐵道ハ國鐵ニ依ル
ト云フコトニナツテ居ツテモ、是ハ出來ヌコ
トダト思フノデアリマス、就キマシテハ今
年モ買收シ、來年モ國鐵ニ買收スルト云フ
ヤウナ路線ガ澤山アツテ、ソレニ相當ナ買
收費及ビ改良費ヲ要スルト云フコトデアレ
バ、寧ロ官民協力シテヤルト云フ氣持ヲ以
テ、私鐵ニ對シテ相當ニ補助乃至ハ適當ナ
方法ヲ以テ、國鐵ヲウント運用シテ行クト
云フヤウナ手段方法ヲ執リマスルナラバ、比
較的金ハ少クシテ所期ノ目的ヲ達スルノデ
ヤナイカト考ヘラレルノデアリマスガ、政
府トシテハサウ云フ方面ノコトヲ御考ヘニ
ナツタコトハナイノデアリマセウカ、其ノ
點ヲ御尋ネ申上ゲタイト思ヒマス

○八田國務大臣 只今御尋ネノ買收ニ依ツ
テドノ位ナ貨物ノ輸送力ガ増スカト云フ點
ニ付テ、數字ハ申上ゲマセヌガ、相當増加
スル積リデアリマス、是ハ過去ノ民營鐵道
ンデ參リマシタ鐵道ガ買收サレマシタ以後
ニ於キマシテ、急激ナル貨物輸送量ノ増加
ヲ見テ居ル事實カラモ申上ゲラレルノデア
リマスガ、今回掲上シテ居リマスル線ノ如
キハ、一層其ノ度ノ多イモノト考ヘテ居リ

マス、是ハ民營デアツテモ、是ト有無相
通ジテヤルト云フコトハ勿論出來ルノデア
リマス、併シナガラ何ト申シマシテモ、企
業形態ガ異ナツテ居リマスル限り、非常手段
ノ場合ハ別デアリマスルガ、平生ノ全體ヲ
綜合的ニ運用スルト云フコトハ、國有鐵道
ニ之ヲ編入シテ運營スルコトガ、過去ノ經
過ニ於キマシテモ、歴史ニ於キマシテモ、
事實ガ左様ニ示スノデ、今回ハ是ダケノ主
要ナル時局下最モ必要デアリマスルモノヲ
國有ニ編入セントスルモノデアリマス、勿
論ソレデハ是ト同様ナル程度ノモノガ相當
數他ニモアルカラ、サウ云フ線ハ民營デ
ケルトスレバ買收シナイデモ、何カ工夫シ
テ相當ノ成績ヲ擧ゲ得ルデヤナイカト云フ
御話モ御尤モダト思ヒマス、私共モ之ニ付
キマシテハ、平生ニ於キマシテ御承知ノ通
リ鐵道程統制ノ行届イテ居ル事業ハ先ツナ
イト思フノデアリマス、極ク古クカラ鐵
道ダケハ大部分ガ國有鐵道デアアル、ソシ
テ又相當ノ部分ガ所謂私設鐵道トシテ運營
サレテ居リマスルガ、是ハ鐵道省ノ立場カ
ラ見マスルト同業者デアアル、是等ノ私設
鐵道ハ所謂營業ノ方カラ運輸ト云フ方面カ
ラ見マスルト同業者デアリマシテ、一體ニ
連絡ノ協力ヲ致シテ居ル、一方カラ見マス
ト監督指導ヲ致シテ居ル、之ヲ兼ネ合ツテ
ヤツテ居リマスルカラ、御話ノ如ク本當ノ
協力ヲモウ既ニ古クカラヤツテ居ルノ
デアリマス、デアリマスルカラ、之ヲモツ
ト高度ニ進メテ行ケバ、別段買收シナイ
イデモ宜イト云フ理論ハ立派ニ立ツノデア
リマス、併シナガラ實際問題ト致シマスト、
ヤハリソコニ一ツノ企業體ガ別ニナツテ居
ルト云フコトガ、今日マデモ或ル鐵道ヲ買

收スル代リニ之ヲ借入レマシテ、サウシテ
國有鐵道トシテ運營致シタノデアリマス、
國有鐵道ノ手ニ依ツテ此ノ借入レタ鐵道ヲ
運營シタノデアリマスガ、中々實際ハ巧ク
行カヌノデアリマス、隨ヒマシテ今回ハサ
ウ云フ考ヘ方モアリマシタケレドモ、進
デ寧ロ買收スルニ如カズ、斯ウ考ヘテ居ル
ヤウナ次第デアリマス、サウシテ買收鐵道
ハ、勿論買收スル前ニ於テモ官私相協力致
シテ有無相通ズル譯デアリマスガ、買收後
ニ於キマシテハ、或ル程度修施設ヲ加ヘツツ、
順次其ノ施設ヲ改善致シテ參ルト云フコト
モ亦、過去ニ於ケル所ノ買收鐵道ト同様ニ
考ヘテ居ルノデアリマス、要スルニ今日、
私共ガ昨日モ申上ゲマシタ如ク政府ニ於テ
國策トシテ決定シタ所ノ戰時陸運非常體制
ト云フモノハ、國有鐵道、ソレカラ地方鐵
道、軌道、旅客、貨物自動車、小運送、斯
ウ云フ陸運ニ關スルモノガ打ツテ一丸トナ
ツテ總力ヲ發揮スルト云フ所ニアルノデア
リマスガ、其ノコトヲ致シマシテ、尙且ツ
其ノ中ノ是ダケノ鐵道ハ少クトモ國有ニ編
入致シタイ、而シテソレハ臨港線、或ハ幹
線トシテ働クベキモノ、或ハ又軍事上ノ必
要カラ特ニ是ダケノモノガ、サウ云フ原則
ノ上ニ立ツテ尙且ツ必要ナリトシテ私共ハ
立案致シタ次第ゴザイマス、此ノ點御諒
承願ヒタイノデアリマス、尙ホドレダケノ
改良施設費ガ要ルカト云フコトニ付キマシ
テハ、政府委員ヨリ御答ヘ致シタイと思ヒ
マス

○小林(紫)政府委員 只今ノ買收後ノ改良
費ノ問題デアリマスガ、是ハ從來ノ例ヲ見
マシテモ、線路ニ依リマシテ非常ニ高低ガ
アルノデアリマス、隨ヒマシテ從來ノ例ニ

依リマスルト、比較的改良費ノ掛リマセヌ
デシタ線路ニ於キマシテハ、平均一「キロ」
當リ四、五千圓ノモノモアリマスルシ、又三
萬圓、四萬圓ト云フ程度ノ大キナ改良費ヲ
投ジタモノモアルノデアリマス、隨ヒマシ
テ今回ノ此ノ十數線ニ付キマシテハ、一本
々々ノ路線ニ付テ見マセヌトハツキリ數字
ヲ申上ゲ兼ネルノデアリマス

○南郷委員 只今ノ御説明デ大體分リマシ
タガ、兎ニ角今後時局ノ推移ニ連レマシテ、
斯ウ云フ時局ノ要請ニ依ツテ鐵道ヲ買上ゲ
ルト云フヤウナコトハ相當起リ得ルト思フ
ノデアリマス、就キマシテハ、其ノ場合ニ
於キマシテモ、ヤハリ只今私ガ申上ゲマス
ヤウナ官民合同デヤツテ行クコトニ依ツテ
十分ニ機能ヲ發揮シ得ルヤウナ手段方法ト
云フモノハ考ヘラレ得ナイト云フ御意思ノ
ヤウデアリマスガ、私斯ウ思フノデアリマ
ス、只今時局ニ必要ダカラト云フノデ、斯
ウ云フモノヲバ片ツ端カラ買ツテ行クコト
フコトニナリマス、是ガ平時ニナルト存
外必要デナイ路線ガ出テ來ルノデヤナイ
カ、斯ウ云フコトモ豫想セララルノデアリ
マス、サウ云フ上カラ考ヘマシテ只今私官
民合同デヤウ云フ路線ハヤツテ行クコトガ
非常ニ宜イノデハナイカ、時局ガ進シマ
マツテ、此ノ路線ハ買上ゲナカツタ方ガ宜
カツタト云フヤウナコトノ悔イヲ後ニ貽ス
ヤウナコトハナイカ、斯ウ云フコトヲ私顧
慮シテ居ル譯デアリマス、サウ云フ路線ガ
アツタナラバ、官民合同デヤツテ行カレタ
方ガ金モ要ラズ、鐵道省トシテモ、サウ各
方面ノ心配ガナクテ能ク機能ガ發揮サレ
ルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯
デアリマス、此ノ意見ヲ申上ゲマス

○八田國務大臣 今御意見ノ官民合同ト云
フノヲ、私ハ違ツテ解シテ居ルカモ知レマ
セヌガ、官民合同ト云フノハ、各、一ツノ路線
ヲ捕ヘテ共同デヤルト云フ意味デアリマス
カ、私ガ先程申上ゲマシタノハ、其ノ私ノ意
味カラ申シマス、既ニ官民合同デヤツテ居
ル、協力シテヤツテ居ル、ソレハナゼカト申
シマス、鐵道ハ全體ガ綜合力ヲ發揮スル
ヤウニ、日本ノ鐵道ノ組織ガサウ出來テ居
ルノデアリマス、詰リ連絡運輸モ致シテ居
マスルシ、監督指導モ致シテ居リマスルシ、
運賃ニ付キマシテハ、國營ト民營トハ違フノ
ガ多イノデアリマスガ、併シソレモ共通ノ計
算ヲ致シテ總テガ一體トナツテ運營サレテ
居リマスルカ、運輸カラ言フト、昔カラ
鐵道程官私協力シテヤツテ居ルモノハナイ、
サウ云フ事業デアルト云フコトヲ申上ゲタ、
ソコデ今御話ノ官民合同ト云フノハ、ソレ
ヲモツト度ヲ縮メテヤツタ宜イデヤナイ
カト云フ御話デアラウト思ツテ伺ツタノデ
アリマス、隨ヒマシテソレハ先程申シマシ
タ通り、今度ノ非常體制ニ於キマシテハ、
ソレガ官デアラウガ民デアラウガ、現有施設
勢力ヲ最高度ニ發揮スルト云フ所ニ陸運非
常體制ノ目標ガゴザイマスルカラ、ソレハ
レデヤツテ行クノデス、地方鐵道ニシテモ、
軌道ニシテモ、ソレガ假令民營デアツテモヤ
ツテ行クノデアリマスルガ、尙且ツ過去ノ實
績カラ見マシテ是レノ特定ノ線路ダケ
ハ直接國有ニ編入スルコトガ種々ノ觀點カ
ラ必要デアル、今問題ニナツテ居リマス臨
港線ノ如キ、之ニ施設ヲ加ヘ改善ヲ致シテ、
サウシテ港灣ノ海陸連絡ノ施設ヲ今後ニ於
キマシテヤツテ行カナケレバナラス、サウ
云フヤウナ意味カラ申シマシテ、企業體ヲ

別ニシテ置クコトガ不便デアルヤウナモノ
ヲ特ニ選出シタト云フヤウナコトデアリマ
シテ、アナタノ仰シヤツテ居ル所謂官民合
同ト申シマスルカ、協力ト云フコトニ付キ
マシテハ、今後ニ於テモ、是ハ全般ノ、
此ノ線路買收ニ掲ゲマシタ線路以外ニモ悉
ク官民協力スルト云フ程度ヲ進メルノデア
リマスガ、其ノ見地カラ立チマシテ、尙且
ツ是ダケノ線ハ直接國有ニ編入スルコトガ
宜シイ、斯ウ云フ考ヘデアルト云フコトヲ
申上ゲタノデアリマス、サウシテ此ノ官民
協力ニ付キマシテハ、私カラ申上ゲルマデ
モナク御承知ノ通り、此ノ重要産業團體令
ニ依リマシテ地方鐵道軌道ニ對シテハ鐵道
軌道統制會ガ既ニ設立セラレマシテ、之ニ
官廳ノ權限ヲ二月一日カラ委讓致シマシテ、
今本當ノ強力ナル民同志ノ先ヅ力ヲ發揮ス
ル、サウシテ之ト官ノ力トガ結付イテヤリ
マスル所ノ方策ガ講ゼラレテ居ルコトハ御
承知ノ通りデアリマス、サウ云フ意味デ申
上ゲタノデアリマス

○南郷委員 能ク解リマシタ、私ガ申上ゲ
マスノハ、現在官民合同デヤツテ居ラレ
ト云フコトハ能ク承知シテ居ラレデアリマ
ス、唯其ノヤリ方トシテ、此ノ私設ノ鐵道
ニ思切ツテ改良ヲ加ヘテ、車輛、機關車ト
云フヤウナモノマデ或ル程度思切ツテ一ツ
補助デモサレテ、サウシテ私設鐵道自體モ
一ツ何トカ細工ヲシテ金ヲ出シテ、サウシ
テ改良シテ行クト云フ方途ヲ講ゼラレルコ
トモ一ツノ考ヘヤウデハナイカ、斯ウ云フ
コトヲ申上ゲタ譯デアリマス

○八田國務大臣 其ノコトハ御同感ニ考ヘ
テ居ル次第デアリマス、即チ出來ルダケ之
ヲ國家目的ニ向ツテ働カセルヤウニ、時局

ノ産業ノ爲ニモツト働カセル、其ノ爲ニハ補助ガ必要デアレバモツトヤツタラ宜イデハナイカ、ソレカラ又官ノ方デ國有トシテ動カシテ居ルモノヲ、民間ノ私設鐵道ノ方ヘ廻シテ之ニ依ツテヤル、詰リ車輛モ或ハ線路モ、戦拔ク爲ニ十分ニ働カセル、ソレニ必要ナル方策、竝ニ必要ガアレバ補助モモツトヤツテ大イニ働カセルガ宜カラウ、斯ウ云フ意味ノ御話ダト思ヒマスガ、全ク御同感デアリマス、サウ云フ風ニ進ミタイト考ヘテ居リマス

○南郷委員 是デ打切りマス

○横川委員長 植村武一君

○植村委員 先程來ノ大臣ノ御答辯ニ依リマシテ、モウ一ツハツキリシテ載キタイ點ガアルノデアリマス、鐵道國有ノ原則通り今後モ地方鐵道ハ順次買收シテ行クノダ、斯ウ云フ風ニ政府ノ御方針ヲ御執リニナツテ居ル、斯ウ解釋シテ宜シウゴザイマスガ、其ノ點ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○八田國務大臣 大體其ノヤウニ考ヘテ居リマス、唯、先程申上ゲマシタガ、地方鐵道ト云フモノハ一地方ノ交通ヲ掌ルモノハ此ノ限りニアラズト法律ニハアルノデアリマスガ、其ノ境ハ非常ニ難カシイノデアリマス、私共ハソコヲ原案ヲ持ツテ居ルト申シマシタノハ、ドレモ是モ國有鐵道ニ編入スル、サウ云フ原案ヲ持ツテ居ルノデハアリマセヌデ、是ハ是非トモ凡ニ觀點カラ見テ本當ニ國有鐵道ニ編入サレテ行クコトガ當然デアアル、斯ウ云フモノニ對シテ原案ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレガ此ノ買收以外ニモ相當數アル、斯ウ云フコトデアリマスカラ、左様御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○植村委員 今ノ御答辯デハツキリ致シマシタガ、其ノ次ニ伺ヒタイノハサウ云フ御方針デアアルノニ多獅島鐵道ノ全線ヲ買收セズシテ其ノ半分ダケヲ買收セラレルト云フ根據ハ何處ニアルノカ、ソレヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○八田國務大臣 只今御尋ネノ多獅島鐵道ニ付キマシテハ鐵道省トシマシテモ監督ノ立場ニアル譯デアリマスガ、此ノ多獅島鐵道ノ買收ハ内務省カラ提案サレテ居リマスノデ、此ノ點内務省カラ直接御答ヘニナル方ガ宜カラウト思ヒマスガ、御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○植村委員 ソレデハモウ一ツ伺ツテ置キタイノデアリマスガ、昨日ノ大臣ノ御答辯ニモアリマシタガ、貨物輸送ノ増強ヲ圖ル爲ニハ旅客輸送ノ縮減ヲ行ハナケレバナラスト思フ、斯ウ云フヤウナ御話デアツタノデアリマスガ、私ハ今日マデ始終思ツテ居ルノデアリマスガ、國鐵ノ幹線デアリマスル東海道線ノ一等車ノ連結ヲ廢止スルトリマス、前ニモ一等車ノ連結ヲ廢止スルト云フコトデ大體支線ノ方面ハ廢止セラレタカノヤウニ存ジテ居リマスガ、東海道線、山陽線ハヤハリ一等車ヲ連結サレテ居ル、年末年始ノ如キニ至リマシテハ乗車制限マデ行ツテ居ルノニ、一等車ハ依然トシテ連結サレテ居ルト云フコトハ、斯ウ云フ時局下ニ於テハ一等車ニ乗ラレマスル特殊階級ノ人モ一ツ共ニ自由ヲ忍ブト云フコトデアラネバナラスト思フノデアリマスガ、サウ云フ點カラ言ツテ今後一等車ノ連結ヲ廢止スルト云フ御方針ガアルカナイカ、更ニ私ハ斯ウ云フ問題ハ小サナ問題ノヤウニモ考ヘマスガ、併シナガラ見方ニ依リマス

ト非常ニ大キナ問題ダト思フノデアリマス、何トナレバ一般ノ民衆ノ側カラ一等車ヲ眺メタ場合ニ、ソレハ私ハ思想的ニモ相當惡イ影響ヲ及ボシハセヌカト云フコトヲ悞レルノデアリマス、サウ云フ點カラ考ヘテモ、大臣トシテハ特ニ斯ウ云フ方面ニ御留意ニナル御考ヘヲ御持チニナツテ居ルノカト云フコトダケヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○八田國務大臣 只今ノ旅客列車ノ縮減壓縮ト云フコトハ既ニ今日マデモ相當ヤツテ居リマス、少クトモ當リ前ナラ増發スベキモノヲ増發セズニ控ヘテ居リマス、隨ヒマシテ事實上旅客ノ側カラ見ルト、非常ナ壓縮ヲ今日マデ既ニ蒙ツテ居ルノデアリマスガ、昨年決定致シマシタ石炭其ノ他重要物資ノ海上ヨリ陸上ニ轉移スルコトニ依リマシテ此ノ鐵道省ニ於テ立テマシタル方針ニ基キマス、今後續々ト壓縮ヲサレルヤウニナルト思フ、唯ソレニハ車輛トカ機關車トカ云フモノノ準備ガ要リマスルシ、又線路ノ隘路等ニ於ケル所ノ施設ト伴ヒマシテ、一段々ト、例ヘバ半年置キトカ、三月置キトカ云フコトニ段々ト貨物が殖エテ、旅客ノ方ガ壓縮サレルト云フコトガ今後吾等ノ目ノ前ニ現ハレテ參ルト存ズルノデアリマス、又サウ云フ計畫ヲ立テマシテ、近ク相當ノ具體策ガ出來ルコトニナツテ居リマスルガ、ソレハ已ムヲ得ナイ、之ニ關聯致シマシテ優等車ト云フヤウナモノヲ廢止スルト云フ考ヘハ如何、斯ウ云フコトニ付キマシテハ、是モ列車ガ段々ト減ツテ參リマス、サウシテドウ云フ所デ減ルカト申シマス、主トシテ急行列車ニ於テ減ルヤウニナルノデアリマス、是ハ私カラ申上ゲルマデモアリマセヌガ、事變以來鐵道沿線ノ

到ル所ニ相當ノ時局産業ガ所謂國土計畫的ニ方々ニ散ラシテ出來マシタ、元ハ旅客列車ト云フモノハ、大體近距離列車トシテハ都會、大都會附近ニ集中シテ、地方ニ參リマスルト、極ク閑散デ、寧ロ急行列車トシテ其處ヲ通過スルモノガ多カツタノデアリマスガ、工場ガ分散サレ、之ニ對スル必要ナル朝晩ノ通勤工員ヲ運ブ爲ニ、地方ニ澤山ノ所謂通勤列車のノ近距離列車ガ相當動クト云フコトニナリマシタ結果、一方ニ於テ貨物列車ヲ段々増シテ行ク以上、何處デ減スカト云フト、ドウシテモ急行列車ヲ減スヨリ外ニ方法ガナイ譯デアリマス、隨ヒマシテ既ニ昨年モ之ヲ實行致シマシタヤウニ特急ガ所謂急行ニナリ、更ニ又普通急行ガ普通列車ニナルト云フヤウナ風ニ段々サウ云フ所ニ行キマス、優等車ハ主トシテ急行ノ列車ノ側ニアルノデアリマスカラ、自然急行列車ノ本數ガ減ルニ從ツテ相對的ニ優等車ノ連結數モ減リマスシ、車數モ減ツテ參ルト云フコトハ當然デアリマスルカラ、此ノ點ニ於キマシテハ優等車ハドシノ減ル、斯ウ申上ゲテ宜カラウト思フノデアリマス、尙ホ之ヲ全面的ニ廢止スルカ、斯ウ云フ點ニ付キマシテハ、マダ私共ハ全ク之ヲ一輛モナクナシテシマフト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、殊ニ大陸トノ交通ヲ目的トスル所ノ一、二ノ列車ニ付キマシテハ、是ハ相當ニ大陸方面カラノ人が往復致スノデアリマス、詰リ日本人以外ノ人モ相當之ヲ利用サレテ居リマス、一々新聞紙上等ニハ出マセヌガ、相當利用サレテ居ル、斯ウ云フ人々ニ對シマシテハ、中々三等車ト云フ譯ニハ參リマセヌ、隨テ極ク僅カデモ是等ノ國際的ノ性質ヲ帶ビタ列車ニ對シマシテ

ハ、或ル程度ノ優等車ヲ今後モ殘シテ行ク
ト云フ考ヘテ持ツテ居ル譯デアリマス、又
二等車ニ付キマシテモ、例ヘバ大阪ト東京
ト云フヤウナ所ヲ、之ヲ全ク外スト云フコ
トハ中々出來ナイ、ソレハ東京ト大阪ノ間
ヲ色々ノ意味ニ於テ人々ガ國策ノ爲ニ動イ
テ居ルノデアリマス、是等ノ人々ハ夜行デ
來テ一日働イテ又夜行デ歸ル、一日ダケ東
京ナリ大阪ナリデ仕事ヲスル、若シ是等ノ
列車ニ於キマシテ寢臺モナクナルト云フヤ
ウナコトニナリマスレバ、又能率ノ上ニ相
當響キヲ來ス、斯ウ考ヘマスノデ、一見シ
テ唯二等ハ贅澤ナ車デアル、一等車ハ更ニ
贅澤ナモノデアルト云フ考ヘハ私共ハ持ツテ
居リマセヌノデ、此ノ實際ノ國ノ經濟活動
政治活動ノ上ニ於キマシテ必要ナル最小限
度ノモノハ、優等車或ハ特殊車ヲ殘スト云
フ考ヘテ持ツテ居リマスルガ、ソレモ段々
ニ壓縮セラレルノ已ムヲ得スコトニナルコ
トハ私共モ豫想致シテ居ルノデアリマス、
隨ヒマシテ今御話ノヤウナ優等車或ハ食
堂車或ハ寢臺車ノ如キ特殊ノ車モ段々減ツ
テ參ルヤウニ相成ルト云フ考ヘテ申上ゲタ
イト思ヒマス

○横川委員長 植村君、内務省ノ政府委員
ガ見エマシタカラ……

○竹内(德)政府委員 先程植村委員カラ多
獅島鐵道ノ買収ニ付キマシテ何故會社ノ全線
ヲ買収シナイカ、一部ダケノ買収ヲスルノハ
何故カト云フ御質問ガアツタヤウデアリマ
ス、多獅島鐵道會社ハ全營業路線ガ五十八
「キロ」程ニナツテ居リマスガ、今度買収致シ
マスルノハ其ノ中ノ三十四「キロ」ト云フコ
トニ致シテゴザイマス、此ノ三十四「キロ」
モゴザイマスルノハ、新義州カラ南方約三十

數「キロ」ノ所ノ南市、此ノ間ニ朝鮮ノ國有
鐵道ガ通ツテ居ルノデアリマス、御承知ノ
通り朝鮮ニ於キマシテハ京城、新義州間ノ
改良工事トシテ復線工事ヲ進メテ居リマス、
所ガ此ノ多獅島鐵道ノ經營路線ノ中、丁度
新義州カラ南市ニ至リマス間三十四「キロ」
ト云フモノハ略、此ノ國有鐵道線ニ竝行シテ
居ルノデアリマス、サウシテ殘リノ二十四「キ
ロ」ハ丁度新義州ト南市トノ中間ニアリマ
ス楊市ト云フ所カラ西多獅島マデ二十四「キ
ロ」アル譯デアリマス、ソコデ今度國鐵ノ改
良ヲ致スニ當リマシテ、此ノ多獅島線ノ
新義州カラ南市、詰リ國有鐵道ノ西側ニ竝
行シテ居リマスル線ガ走ツテ居リマスルコ
トカラ言ツテ、國有鐵道ヨリモ遙カニ平坦
ナ場所デアリ、又距離モ十一「キロ」バカリ
短カイ「ショートカット」ニナツテ居リマス、
ソコデ復線ノ工事ヲスルニ致シマシテモ、
現在ノ國有鐵道ノ脇ニ直グ復線ヲ造リマス
ヨリモ、新シイ道ヲ通シタガ遙カニ便利
デアルト云フ意味デ、今ノ三十四「キロ」ノ
部分ハ輸送ノ幹線トシテドウシテモ國有ニ
スル必要ガ起ツテ參ツテ居リマス、殘リノ
部分ノ楊市カラ多獅島ニ行キマス線ハ、一
種ノ臨港鐵道トシテノ用ハ致シマス重要
ナ線デアリマスガ、差當リ之ヲ買収スル必
要ハナク、私鐵トシテ殘シマシテ私設鐵道
法ニ依リ補助金ノ交付ヲ致シテ參レバ立派
ニ成立ツテ行ケルト云フ見込ヲ持ツテ居リ
マスルノデ、今回ハ鐵道會社ノ經營路線ノ
一部差當リ必要ナ部分ダケヲ買収スル、サ
ウ云フ風ニ致シテ居ル次第デゴザイマス

○植村委員 只今ノ御説明ニ依リマシテ尙
ホ一寸得心致シ兼ねルノデアリマスガ、大
臣ノ御説明ハ、鐵道國有ノ原則通り順次必

要ナル路線カラ買収スル、斯ウ云フ御方針
ダト云フ御説明デアリマス、サウ云フ御説
明デアルト共ニ、今回ノ此ノ買収鐵道ハ主
トシテ幹線ノ増強竝ニ臨港線ヲ買収サレテ
居ルカノヤウニ考ヘラレルノデアリマス、
私ハ勿論此ノ現地ヲ知リマセヌカラ、ドウ
云フ所デアルカ一寸想像ガ付キマセヌガ、
此ノ地圖ヲ拜見シテモ、又今ノ政府委員ノ
方カラノ御説明ニ依ツテモ、楊市カラ多獅
島ニ至ル線ハ臨港線デアルト云フコトヲハ
ツキリ申サレテ居ルノデアリマス、サウス
ルナラバドウセ新義州カラ南市マデヲ買収
サレルノデアレバ、而シテ今又政府委員ノ
方ガ臨港線トシテモ相當重要ナル路線デア
ルト之ヲ認定サレテ居リマス以上ハ、共ニ
之ヲ買収ナサツデ然ルベキモノデアアル、斯
様ニ私ハ考ヘルノデアリマスガ、其ノ點ニ
對スル政府ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○竹内(德)政府委員 臨港線トシテ重要ナ
路線デアルトコトハ只今申上ゲタ通りデアリ
マス、唯現狀カラ申シマス、多獅島港ハ
目下建設ノ途上ニアリマシテ、現在此ノ線
ヲ利用シマス貨物ノ輸送量ト云フモノハサ
ウ大シタモノデアアリマセヌ、將來ハ大キ
クナルカモ知レマセヌガ、全體トシテ朝鮮
ニ於テモ今後買収ヲ要スベキ鐵道ト云フモ
ノハ相當「キロ」數アルコトハ御承知ノ通り
デゴザイマス、先般内地ノ事情ニ付キマシ
テ鐵道大臣ガ仰セニナリマシタ如ク、諸般
ノ財政上ノ計畫其ノ他ト併セマシテ絕對ニ
必要ナモノヨリ順次財政事情等モ睨合ハセ
テ買収シテ行ク、其ノ方針ニ依リマシテ今
回ハ一部ノ買収ニ止メタヤウナ次第デアリ
マス

○植村委員 打切りマス

○横川委員長 久山知之君
○久山委員 私ハ中途カラ委員ニナリマシテ、
今マデノ政府ノ提案理由ノ御説明モ實ハ
承ツテ居ナイ、隨テ御尋ネスル點ガ多少重
複スルカモ存ジマセヌガ、其ノ點同僚諸君
ノ御諒解ヲ御願ヒ申上ゲタイト思ヒマス、
政府ハ今回北海道鐵道株式會社外十一線ノ
買収ヲ御提案ニナリマシタ、私共國家ノ交
通運輸ノ機關ガ益、充實致シマスコトヲ心
カラ喜ンデ居リマス、併シ年々買収サレマ
ス私設鐵道ハ今後モ尙ホ續カウト思フノデ
アリマス、何カ買収ノ順位トデモ云フモノ
ガアルノデアリマセウカ、或ハ其ノ年度
ニ於テ早急ニ御決定ニナルノデアリマセウ
カ、此ノ原則トデモ申シマスカ、御方針ヲ
承リタイト思ヒマス

○八田國務大臣 先程申上ゲマシタガ、大
體ノ鐵道省デノ考ヘ方ハ、國有鐵道トシテ運
營スルコトガ最モ效果ヲ擧ゲ得ル、サウシ
テ然ラバ之ヲドウ云フ風ニ編入シテ行クカ、
其ノ順序ト云フノハ案ヲ作レバナイ譯デ
ハナイノデアリマスケレドモ、サウ云フ世
ノ中ニ發表シテ宜シイト考ヘルヤウナ具體
的ノ案ハナイノデアリマス、私ハ原案ト先
程申上ゲマシタガ、ソレハ是レ位ナモノガ
吾々ノ考ヘテ居ル所謂國鐵トシテ編入セラ
ルベキモノナリ、斯ウ云フ原案ハ持ツテ居
ルノデアリマス、併シナガラ其ノ順序ヲ豫
メ附シテアルト云フコトハゴザイマセヌ、唯
愈、鐵道會議ニ對シマシテ是等ノ原案ヲ以
テ具體的案ヲ作リマス場合、即チ言換ヘレ
バドノ位ナ交付公債ガ要ラウカ、或ハ
之ニ對シテハドノ位ナ改良施設ガ要ラウカ
ウカト云フヤウナコトヲ、具體的ニ其ノ時ニ
當リマシテ調べマシタ結果、自ラソコニ提

案直前ニ於キマシテハ順序が大體出來得ルノデアリマス、今回ノ地方鐵道買收ヲ關係局ト相談ヲ致シ、即チ財政ノ見地カラ、或ハ交付公債ニ依ル經濟界ニ及ボス影響ト云フヤウナ點ニ付キマシテ相談ヲ致シマス時ニハ、相當順序ヲ私共ノ肚ノ中ニハ持つテ居ル譯デアリマス、其ノ中カラ是ダケノ鐵道ガ具體的ニ案トナツテ現ハレル、斯ウ云フ風ニ御承知ヲ願ヒテ思ヒマス

○久山委員 買收線ヲ御調査ニナル場合ハ、何カ地方的ニ御考慮ニナルデアリマセウカ、或ハ經營者ノ如何、若シクハ運動ノ狀態ニ依ツテ御決定ニナルデアリマセウカ

○八田國務大臣 此又提案理由ニモ書イテアリマスル通り、是ダケノ鐵道ハ此ノ時局ニ於テ國有鐵道トシテ運營スルコトガ、最モ其ノ鐵道ノ效果ヲ發揮シ得ルモノデアリマス、其ノ爲ニ買收スル、斯ウ云フコトデアリマス、隨ヒマシテ全ク鐵道省ノ綜合的ノ平生ニ於キマスル所ノ調査研究ノ上カラ出テ參ルノデアリマス、只今運動ト云フ御話ガアツタヤウニ一寸聽エタノデアリマシマス、若シソノナヤウナコトデアリマシマス、ソレハ絕對ニサウ云フヤウナコトハゴザイマセス、ノミナラズ恐ラク今回ノ買收ヲ突如トシテ受ケタ方面ノ企業者ニ於テハ、非常ニ困ツテ居ラレル所モ相當アルト考ヘマス

○久山委員 其ノ點能ク分リマシタ、鐵道省ハマダ全國的ニ見マシテ買收ノ必要ナル路線ハ御考ヘニナツテ居リマスカ

○八田國務大臣 先程モ申上ゲマシタガ、考ヘテ居リマス

○久山委員 私率直ニ申上ゲマスガ、ドウモ今マデノ鐵道省ノ御方針ニ承服出來難イ

モノガアルノデアリマス、實ハソレガ私ノ選舉區ニ關係ガアル、隨テ過去十五年間議員生活ヲ致シマシタガ、屢、御尋ネスル機會モアリマシタ、併シ私一切此ノ問題ニ觸レテ參動ニ上ツテ來ル人ガアリマスガ、私ハ努メテ此ノ先頭ニ立ツコトヲ避ケテ參リマシタ、少シ神經過敏デアツタカモ知レマセマスガ、サウスルコトガ私ハ寧ロ代議士トシテ、地方代表者トシテノ本當ノ建前デアルト、斯様ニ考ヘマシテ、所謂運動ヲ致シタコトガアリマセマス、鐵道省ニ御願ヒニ出タコトモアリマセマスガ、實ハモウ痺レヲ切ラシテ居ル、率直ニ申上ゲマス、今カラ十年以上前ニ、當然買收サルベキモノデアツタガ、ソレガ如何ナル理由デアルカ、未ダ買收サレテ居ナイ路線ガアルノデアリマス、斯ク申上ゲマスレバ大臣ハ其ノ道ノ「エキスパート」デアラツシヤルカラ、直グ御分リデアラウト存ジマス、彼ノ中國鐵道デアリマス、ナゼ是ガ買收サレナイノカ、今マデ買收サレタ路線若シクハ今回御提案ニナリマシタ路線ト比ベテ、ナゼ買收ノ價值ガ低イカ、買收ノ必要ガナイノカ、此ノ點ヲ一ツ承ツテ置キタイノデアリマス

○八田國務大臣 中國鐵道ニ付キマシテハ先程他ノ委員カラ御尋ネノ時ニ、一應御答ヘ申上ゲタノデアリマスガ、御話ノ如ク此ノ中國鐵道ハ相當古クカラ、恐ラク明治三十九年ノ國有鐵道ノ最初ノ大キナ買收ノ時ニモ考ヘラレテ居ツタ線ダト思ヒマス、隨ヒマシテ其ノ後ニ於テ鐵道省ニ於テモ恐ラク何時モ問題ニナツテ居ル線ト私ハ承知致シテ居リマス、今回モ是等ニ付キマシテ鐵道省トシテハ相當考ヘテ居ツタモノデアリ

マス、然ルニ先程申上ゲマシタ通り、公債ノ發行額、或ハ又直接數字ヲ以テコニ比較ハ申上ゲラレマセマスガ、先ヅ今回ノ買收線路トシテ掲上スルコトカラ是ガ次ニ廻ツテ居ル、斯ウ云フコトニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○久山委員 前ダナタカ既ニ御質問ガアツタト云フコトデゴザイマスガ、私生憎其ノ御質問ヲ承ツテ居リマセヌノデ、或ハ既ニ御答辯濟ノ點ニ觸レルカモ知レマセマスガ、其ノ點ハ委員長ニ御諒解ヲ願ツテ置キマス、今度買收ニナリマス線ヲ見マス、多クハ省線ト省線トノ連絡、若シクハ臨港線ノヤウニ考ヘラレルノデアリマス、只今大臣ノ御答辯ニ依リマス、今回御提案ニナリマシタ線路ニ比ベテ中國鐵道ハマダ色々ノ意味ニ於テ買收ニ入ル程ノ資格ガナイカノ如キ感ジモ致ス譯デアリマス、併シ同じ中國地方ニ於キマシテ、又中國鐵道ト同一ノ使命ヲ持つテ居リマシタ藝備鐵道、兩備鐵道共ニ數年前鐵道省ノ買收路線ニ相成ツタ譯デアリマス、今回御提案ニナツテ居リマス播丹鐵道ニ比ベテ、ドウシテ中國鐵道ガ其ノ資格ガナイノデアリマス、唯漫然交付公債ノ額ダケ承ツタノデハ私共得心ガイカナイノデアリマス、中國鐵道ハ、御承知ノ通り今カラ十數年前ニ鳥取カラ津山ニ向ケマシテ因備線ト云フ鐵道ガ開通致シマシタ、其ノ時ニ當然買收サルベキモノ、又鐵道省トシテハ、鐵道交通ノ上ニ於テ、運輸ノ系統ニ於キマシテ、所謂陰陽連絡ノ大キナ使命ヲ持つテ居ル路線トシテ、當然買收サルベキ路線デアツタト思フノデアリマス、又其ノ後姫路カラ新見、新見カラ三次ト、段々線路ガ延ビテ參リマシテ、津山ト云フ地點

ハ交通ノ要衝ニ相成ツテ居ル、今日山陰、山陽ノ交通連絡ノ上カラ致シマシテ、非常ニ重要ナル路線アルコトハ私ガ申上ゲルマデモナク鐵道大臣モ能ク御承知ダラウト思フノデアリマス、サウ云フ鐵道ガナゼ買收ニ漏レルカ、私甚ダ失禮デアリマスガ、前ニ運動ノ如何ニ依ツテ買收ガ決定スルノデア

ルカドウカ、斯ウ御尋ネ申上ゲタ譯デアリマス、私ハ固ヨリ運動ニ依ツテ左右サレルモノトハ考ヘテ居リマセマスガ、何レノ點カラ考ヘテモ、藝備、兩備若シクハ播丹ノ鐵道ト比較致シテ、中國鐵道ガ買收サレナイト云フ事情ニアルコトハ、是ハ誰ガ見テモ斷ジテ承認致シ難イノデアリマス、ソコニ何カ大キナ理由ガナケレバナラスト思フ、其ノ理由ヲ私ハ承ツテ置キタイト思ヒマス

○八田國務大臣 先程申上ゲマシタ通り大キナ理由ハゴザイマセス、詰リ吾々ノ原案ニハアルノデアリマス、併シ物ハ大體長サニ依ツテ切りマスカラ、切ラレタ部分ニ於キマシテハ、切ラレタ所ト切ラレタカツタ所ノ境ニハ殆ンド區別ガナイノハ、實際總テノ問題ガサウダト思ヒマス、隨ヒマシテ是ハナゼ買收シナイカ、斯ウ言ハレテモ、ソレハ何人ト雖モ説明ガ出來ナイノデハナイカト思ヒマス、若シ之ヲ説明シ得ルナラバ、恐ラク同時ニソレハ買收ノ資格、必要ナシ、斯ウ云フコトノ斷定ニナルモノデアラウト考ヘマス、隨ヒマシテ私ハ説明ノ具體的ニシニキイ程近イ同等性ヲ持つテ居ルト云フコトヲ最初申上ゲテ居ルノデアリマス、唯今回ハ、買收ハ幾ラデモ多ク私共ハ希望致シテ居リマスケレドモ、併シナガラ財政上ノ關係、或ハ又交付公債、是ガ假令交付公債デアリマシテモ、又其ノ方面

カラ見マス、インフレーションの影響ハナイカ、悪性インフレーションニナル虞ハナイカト云フヤウナ關係カラ致シマシテ、或ル額ヲ以テ切リマシテ關係上此ノ程度ノ鐵道ニ案ガ立ツタ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテアルノデアリマス。

○久山委員 只今鐵道大臣ハ、切ラレタモノト切ラレナカッタモノトノ差ハ殆ドナイト云フ御話デアリマスガ、前ニ例ニ舉ゲマシタヤウニ、藝備、兩備ハ各、數年前ニ既國有ニナツテ居ル、切ラレタ中鐵ハ今日尙ホ國有ニナツテ居ラナイ、今後ト雖モ或ハマダ見込ガナイノデハナイカト思フノデアリマス、其ノ間ノ差ハ非常ニ大キイノデアリマス、御承知ノ通り中國鐵道ハ日本モ運賃ノ高イ設備ノ惡イ鐵道デアリマス、是ガ爲ニ地方ニ於ケル損害迷惑ト云フモノハ實ニ莫大ナモノガアルノデアリマス、是ガ買収サレルト否トハ關係地方ニ取リマシテハ實ニ容易ナラザル問題デアアルノデアリマス、是ガ爲ニ今マデ年々歳々或ハ請願ヲ或ハ建議ヲ此ノ議會ニ提出シテ居ルコトハ鐵道省ノ關係當局ハ能ク御承知ノ通りデアリマス、唯鳴物入りノ運動ハ致シテ居リマセス、又戰爭ガ始マリマシテ以來サウ云フコトハ慎重シムベキコトト致シマシテ差控ヘテ居リマスルガ、此ノ鐵道ガ今マデ地方カラ搾取シマシタ利益ト云フモノハ少カラザルモノガアルト思フノデアリマス、アノ津山カラ岡山ニ出マス哩數ニシテ僅カ三十六哩、其ノ間ノ鐵道運賃ヲ拂フヨリモ、寧ろ津山カラ新見ニ廻リ伯備線ヲ通ツテ岡山ニ出ル、或ハ津山カラ姫路ヲ迂廻シテ山陽線岡山ニ出ル方ガ運賃ガ安イノデアリマス、時間的ニ早ク着クノデアリマス、サウ云フ鐵道ヲ何

時マデモ御放任ニナツテ居ル、國ノ赤字公債ノ發行總額ヲ御心配ニナル鐵道省ノ御方針ハ地方ノ者ガ恨シデ居ル、私ハ本當ニ申上ゲマス、地方ノ者ハ鐵道省ノ御仕打ヲ恨シデ居ル、更ニ私ハ御伺ヒ申上ゲタイ、鐵道省ガ此ノ鐵道ヲ買収シナイ理由トシテ、是ハ民間ノ取沙汰デアリマスガ、經營者ハ安田デアアル、安田ハ鐵道ノ買収サレルコトヲ希望シテ居ナイ、寧ろ買収ノ妨害ヲシテ居ル會社デアアル、此ノ爲ニ吾々ガ今マデ非常ニ苦シシデ居ルノデアアル、斯ウ云フコトヲ申シテ居ル、ヨモヤサウ云フコトハアルマイト思ヒマスガ、冒頭御尋ネ申上ゲタヤウニ、經營者ノ如何ニ依ツテ鐵道ノ買収非買収ガ決マルノデアアルカ、モウ一回ハツキリシタ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス。

○八田國務大臣 只今最後ニ御話ニナリマシタ經營者ノ如何、或ハ買収ヲシテ貴ヒタイト云フ運動等トハ全然關係ハゴザイマセス、先程來申上ゲタ通り、又他ノ委員ニモ御答ヘ申上ゲマシタガ、鐵道省トシテハ是ハ買収シタイ考ヘヲ持ツテ居ルモノデアアル、唯今回ハ是ガ先程申上ゲタヤウナ關係カラ致シマシテ、此ノ最後案ニハ掲上サレテ居ラス、斯ウ云フコトデ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○久山委員 無論サウナケレバナラスト考ヘマス、然ラバ鐵道ノ營業狀態ニ對スル監督ノ御方針ヲ承ツテ見タイノデアリマス、鐵道路線ノ檢査ト申シマスルカ、一定ノ期間御調査ニナツテ居ルト考ヘマスガ、ソレハドウ云フ風ナ狀態ニアルノデアリマスカ、或ハ年々御調べニナルノデアアルカ、三年目ニ御調べニナルノデアアルカ、其ノ點ノ御方針ヲ監理局長ガ御出席デアリマスレバ局長

カラ承ツテ置キタイノデアリマス。

○佐藤(榮)政府委員 中國鐵道ニ付テノ監督指導ノ御尋ネト考ヘルノデアリマスガ、中國鐵道ノ内容ニ付キマシテハ、私ガ縷々申上ゲルマデモナク、能ク御承知ノコトト存ズルノデアリマス、最近ノ會社ノ成績ハ十六年ノ上期ニ於テ六分ノ配當、下期ニ於テ七分ノ配當ヲ致シテ居ル鐵道デアリマス、又同會社ノ賃率ハ大變高イ地方鐵道ダト云フ御話ガ只今アリマシタガ、旅客一人ノ「キロ」當リハ二錢二厘四毛デアリマシテ、全國ノ地方鐵道ノ賃率カラ見マスレバ、是ハ必ズシモ高イ方ニハ入ツテ居ラナイノデアリマス、又貨物ノ營業「キロ」ハ實「キロ」ニ對シマシテ九割増ヲ取ツテ居リマスガ、是ハ貨物營業「キロ」ヲ設定シテ居リマス地方鐵道ハ、今日ノ相當多數會社ガアル譯デアリマス、其ノ中ニハ十數割増ノ賃率ヲ取ツテ居ルモノモアルノデゴザイマス、此ノ點ニ付キマシテハ旅客運賃自身ハ御承知ノ如ク國有鐵道ノ運賃ガ一番高イ所デ「キロ」當リ二錢ニナツテ居リマス、貨物ノ方ノ運賃ハ、昨年國有鐵道ノ貨物運賃ヲ改正スルニ當リマシテ、省社ヲ通ジテノ通算運賃制度ニ致シタノデゴザイマス、會社自體モ省ノ賃率ヲ使ヒ、唯其ノ「キロ」數ニ對シテ貨物營業「キロ」ヲ設定シテ居ル、ソレガ只今申シマ

ス改正ニ際シマシテハ省社通算ニナリマスノデ、省線ニ貨物ガ出マシテ送ラレルヤウナ場合ニ於テハ省ノ賃率ノ遠距離遞減ノ利益ヲ受クルコトニナツテ居ルノデアリマス、尙ホ又此ノ線路ノ狀態ニ付キマシテ色々御話ガアツタノデアリマスルガ、此ノ會社ニ付キマシテモ、技術監督、其ノ他ノ機會アル毎ニ其ノ調査等モシテ居ルノデゴザイマ

ス、技術監督ト申シマスルノハ、是ハ定期的ニ本省カラ係員ヲ派シテ檢査サセテ居ルノデゴザイマス、此ノ檢査ニ際シマシテ色枕木ガ少イ、或ハ砂利ノ入レ方ガ少イトカ、或ハ線路自體ニ於キマシテ弱イトカ、斯ウ云フヤウナモノガアリマスレバ、ソレゾレ注意シ、資材ヲ提供シテ改修ヲ命ジテ居ルノデゴザイマス、唯全體ト致シマシテ、是ハ獨リ中國鐵道ニ限ツタコトデアリナイノデゴザイマスガ、此ノ事變前ノ施設其ノモノデ今日ニ參ツテ居ル所ガ非常ニ多イノデゴザイマス、特別ニ工員ノ輸送或ハ工場等ガ出來タ特殊地區ニ於キマシテハ、車輛ノ新設或ハ増備ナリ、或ハ線路ノ補強計畫ガ立ツタ所モアルノデゴザイマスガ、國全體トシテ見ルト、ドウモソレ等ノ運轉資材ニ致シマシテモ、線路ノ補強ニ致シマシテモ、十分ノコトガ出來兼ネテ居ル狀態デゴザイマス、殊ニ此ノ鐵道ハ先程カラ御話ノアリマシタ如ク、其ノ必要ト致シマス資材ガ時局柄最モ不足ヲ來シテ居ル鐵道デアリマス、隨ヒマシテ中々軌條交換ガ思フヤウニ行カナイ、或ハ又車輛ニ致シマシテモ國內ノ車輛生産能力竝ニ其ノ所要資材ト云フヤウナモノト配合ハセテ見マス、中々地方鐵道ノ面ニハ、十分ニハ勿論ノコトデアリマスガ、不足勝チニ致シマシテモ行キ兼ネルヤウナ狀態ニアルノデアリマス、監理局ト致シマシテハ、最近出來マシタ統制會等ヲ通ジマシテ、十分此ノ必要トシテ居ル車輛ナリ、或ハ資材ナリヲ緊急度、或ハ必要度ト云フモノヲ檢討致シマシテ、サウシテ最モ困ツテ居ル局面、最モ必要ト感ゼラレル面ノ二點ニ資材ヲ流シテ行ク、斯ウ云フヤウナ現狀デゴザイマス、隨ヒマシテ今中國鐵

ケレドモ、元來因美線ハ鳥取岡山間ノ連絡ヲ圖ル爲ニ造ラレタ鐵道ナンデアリマス、ソレガ私設鐵道ニ依ツテ中斷サレテ居ル、其ノ先ニハ御承知ノ通り宇野線ハ四國ニ連絡ヲ致ス、サウスルト因美線ト宇野線ノ間ニ私設ノ鐵道ガアルガ爲ニ列車ノ運行ガ非常ニ阻碍サレ、一々乗換ヘナケレバ通行出來ナイ、斯ウ云フ線ハ恐ラク全國ニ一ツモ私ハナイト思フ、併シ是以上多クハ申上ガマセヌ、大臣ノ御話ニ私ハ謝意ヲ表シマシテ、是以上質問ヲ致シマセヌガ、希クバ地方ノ意ノアル所ヲ能ク御酌ミ取テ願ヒタイノデアリマス、私ハ前申上ゲルヤウニ、自分ノ地方デアアルカラ斯ウ云フオ縦リヲスル譯デハナイノデアリマス、今マデ會テ此ノ問題ニ一言モ觸レタコトハアリマセヌ、唯餘リニ片手落ノ御方針ヲ痛憤スルノ餘リ或ハ非禮ニ互ル點ガアツタカモ知レマセヌガ、其ノ點ハ惡シカラズ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス、立チマシタ序ニ、最近ノ運送——ト申シマシテモ宅扱ノ小サイ問題ヲ御尋ネ致シタイノデアリマス、近來ドウカスルト荷物ガ運送ノ中間ニ於テ非常ニ破損スル、其ノ破損ガ偶然起ツタ破損ト見ルヨリハ、寧ろ容器ヲ壞シテ中ノ物ヲ中途テ失敬スルト云ツタギウナ目的ノ爲ニ、故意ニ破損ヲサセタノデヤナイカト思フ節ガ屢見受ケラレ、ノデアリマス、今一ツハ地方カラ之ヲ送ツテ來ルコトハ私ハドウカト思ヒマスガ、併シ一々地方ノ者ニ物ヲ送ルナト云フ書面ヲ出ス譯ニモ參リマセヌカラウツチヤツテ居リマスガ、例ヘバ松茸ノ季節ニハ松茸、或ハ野菜物ノ出ル場合ニハ制限ノ範圍ニ於テ野菜物ヲ地方カラ送ツテ來ル、果物デモ同様デアリマス、汽車ノ上デハ比

較的正確ニ又比較の早く着クラシイノデアリマスガ、驛ニ着イテ後ノ運送ノ時間ガ非常ニ掛ル、隨テ折角送ツテ來タ物ノ殆ド大部分ガ腐敗シテ居リマス、腐敗シタモノハ致シ方ナイト致シマシテモ、腐敗サセル爲ニ物ヲ送ル者ハ一人モナイ、是ガ爲ニ鐵道ノ運輸ニ非常ナ負擔ヲ加重サセル、勿論昨年ノ十二月十五日以來一月ノ十五日マデハ一切ノ托送ヲ御停止ニナツタ、是ハ機宜ヲ得タ處置デアツタカモ存ジマセヌガ、其ノ折角着イタ品物ガ破損ヲシテ中ノ品物ガ採取ラレタリ、若シハ腐敗スルト云フコトハ、驛ニ着イテソレヲ宅ニ配達スルマデノ間ニ行ハレル、近時人手ガ非常ニ少イ、隨ツテ人夫ノ中ニ善クナイ者モ段々入ツテ參ツテ居ルデアリマセウ、併シソレガ爲ニ受ケル荷主ノ損害ハ莫大ナモノガアラウト思ヒマス、延イテハ鐵道省ノ信用ニモ關シマス、斯ウ云フ小サイ問題デアリマスガ、全國的ノ大キイ問題ニナツテ居ルノデアリマス、サウ云フ方面ノ監督ノ御方針、或ハ今後如何ニスベキカニ付キマシテノ御意見ヲ承ツテ置キタイ

○八田國務大臣 只今ノ荷物ノ破損或ハ減失ト云フ點ニ付キマシテハ、御話ノ通り鐵道當局ニ於キマシテモ心カラ實ハ心配ヲ致シテ居ル問題デゴザイマス、運輸或ハ線路或ハ輸送上ノ貨物事故ト云フヤウナモノハ大體ニ於テ減ツテ參ツテ來テ居ルノデアリマスガ、唯荷物、貨物、殊ニ小荷物ノ類ノ事故ガ寧ろ殖エテ參ツテ居ルト云フコトハ洵ニ遺憾トシテ居リマス、唯遺憾ト申スノミナラズ世間カラ御覽ニナレバ、國有トシテ運送サレテ居ル其ノ中ニサウ云フ事故ガ多イ云フコトハ洵ニ申譯ナイコトデアリマスノデ、鐵道當局

ニ於キマシテモ、實ハ是ノ對策ニ腐心致シテ居ルノデアリマス、其ノ原因ハ只今モ御話ガアリマシタ通り色々アルノデアリマス、是等ノ原因ヲ一々根本的ニ檢討檢索致シマシテ、之ニ對スル對策ヲ昨年來講ジツツアルノデアリマス、多少其ノ效果ガ現ハレ出シタヤウニ私共ハ考ヘテ居リマスガ、尙ホ一層之ニ對シテ一段ト努力ヲ續ケナケレバナラナイト考ヘテ居リマス、而シテ其ノ事故ハ殊ニ御話ノ小荷物ノヤウナモノニ付キマシテハ、鐵道ノ驛カラ驛マデノ間ニ起ル事故モアリマスシ、又鐵道ノ線路ヲ離レタ前後ノ、所謂小運送ノ部面ニ於テ起ルモノモアリマスシ、又鐵道ト小運送トノ接續點、即チ驛ノ置場「ホーム」ニ置イテアリマス間ニ起ル、又大陸等カラ連絡シテ參ルモノニ相當多イノデアリマス、即チ大陸カラ船ニ依ツテ積換ヘサレテ、鐵道ニ依ツテ又、各自ノ自宅ニ配達サレルト云フ其ノ間ニ於キマシテ、或ハ海陸連絡ノ際、或ハ海ノ輸送ノ上ニ於テ、ト云フヤウニ色々アリマスガ、私共ガ段々檢討シマシタ結果ハ、大體輸送ノ終リノ部分ニ於テ、モハヤ近ク是ガ目的地ニ到達サレルト云フ近イ所ニ於テ起ルヤウナ氣ガ致スノデアリマス、ソレハドウ云フコトデアアルカト考ヘマス、以前ハ人手モ多カツタ爲ニ、例ヘバ驛ニ於テ一晚之ヲ置イテオクト云フ場合、相當監視ノ眼モ届イタノデアリマス、或ハ又荷物ヲ積ンダ上ニ網ヲ掛ケテ置クト云フヤウニ、サウ云フ資材モ相當ニアツタノデアリマスガ、今日デハサウ云フ手が總テ省カレテ居リ、資材ノ關係又人手ノ上カラモ是ガ十分デゴザイマセヌ、隨ヒマシテ夜間ニ於テ盜難ニ罹カルモノモ相當アルヤウニ見エルノデアリマス、

又根本的ニ申シマス、荷造包裝ノ材料ガ以前ニ比シマシテ甚ダ不足ガチデアリマス、包紙ニ致シマシテモ、或ハ紐ニ致シマシテモ、釘ニ致シマシテモ、箱材ニ致シマシテモドウシテモ餘程落チテ參ツテ居リマス、サウ云フ關係カラ、送ツタ人ハ完全デアルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、ソレガ長イ輸送ノ途中ニ於テ何遍カ上ゲ下ロシテ致シマス間ニ是ガ破損ヲ致シテ來ル、是ハ以前ハ途中デ手直シヲシテ居ツタ譯デアリマスガ、其ノ手直シモ今日デハ資材等ノ關係カラ中出來ナイ、又其ノ暇モナイ、サウシテ其ノ輸送量ハ非常ナ殖エ方デアアル、自動車運バレタモノガ今度ハ皆鐵道ニ依ル、近距離ノモノモ遠距離ノモノモサウ云フ狀態デ増シテ參リマス、一方ニ於テハ人手ガ十分デナイ、又熟練者ガ段々少ナクナツテ、若イマダ經驗ノ少イ人ガ多クナツテ來タ、斯ウ云フヤウナ色々ナ關係カラ致シマシテ、故意デナクとも相當ノ事故ガ起ツテ居ルノデアリマス、其ノ上ニ私共ニ慙ヘラレルトハ、只今モ御話ガアリマシタガ、故意ニサウ云フ事故ガ起ツテ居ルト云フコトヲ聽キマシテハ、洵ニ是ハ遺憾ニ存ジ、申譯ノナイコトデアアルト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ、繰返シテ申上ゲマスガ、鐵道省トシテハ凡ユル手段ヲ盡シテ此ノ問題ヲ解決シナケレバナラス、絶無ト云フコトハ出來マスマイケレドモ、増加シテ來タ此ノ趨勢ハ何レノ部面カラ見マシテモ絕對ニ之ヲ排除シナケレバナラスト考ヘマシテ色々ノ手段ヲ盡シテ居リマス、例ヘバ發送ノ時ニ於テニ調査表ヲ付ケテ、サウシテ到着ノ時ニ於テ、ドウ云フヤウナ徑路ヲ經テ、何處デドウナツタカト云フヤウナコトヲ、破損ニ付テモ

減失ニ付テモ直チニ發見ノ出來ルヤウナ調
査モ、可ナリ大キナ數量デ非常ナ面倒ナコ
トデアリマスケレドモ、厭ハズ始メテ居ル
ヤウナ譯デアリマス、又從業員ニ對シマシテ
ハ、ソレガ直接鐵道省ノ從事員デアリマセ
ウトモ、或ハ運送店ニ屬スル者デアリマセ
ウトモ、例ヘバ五人組ナリ十人組ト云フヤ
ウナモノヲ設ケマシテ、サウシテ速カニ發
見ノ出來ルヤウニ凡ユル手段ヲ盡シテ居ル
ヤウナ次第デアリマスノデ、私共ハ段々ト
是ガ減少シテ參ルコトヲ期待シ、又心カラ
願ツテ居ル次第デアリマス、此ノ間御送りニ
ナリマシタ方、又受取ル方ニ對シテ色々ト
御迷惑、不快ノ氣持ヲ與ヘテ居ルコトハ、私
共ノ洵ニ遺憾ト致シテ居ル所デアリマス、是
非ハ回復致シタイト思ヒマス、而シテ是
ガ對策トシテ何カアルカト云フコトニ付キ
マシテハ、只今申上ゲタノモノ一部デアリマ
ス、根本トシテハ、コニ關係スル人ノ熟練
度ヲ早ク増スコトガ必要デアラウト思ヒマ
ス、今日數字ハ申シマセヌガ、是ハ當然ノコ
トデアリマスケレドモ、事變前ニ比ベマシ
テ僅カ五年ノ間ニ未下年者ノ數ノ殖エタ
コトハ非常ナモノデアリマス、是ハ驛頭デ
御覽ニナレバ直グ分ルコトデアリマス、サ
ウシテ丁年ニナリマスレバソレガ軍隊ニ入
ルト云フ譯デ、全ク鐵道ノ現場ノ從業員ト
云フモノハ未下年者ヲ教育シ、又教育シ終
ツク頃ニハ他ニ轉ジテ居ルト云フ、絶ヘズ
養成機關ノヤウニ相成ツテ居ルノデアリマ
ス、此ノ養成ニ付キマシテハ、教育所ヲ初
メ、現場ニ於ケル現場練習養成其ノ他青年鍊
成所デアルトカ、鐵道ノ凡ユル教育機關、教
養機關ヲ總動員シマシテ、其ノ質ノ點ニ於テ
幾ラカデモ是ガ強化ニ努メテ居ルヤウナ次

第デアリマス、此ノ根本ノ問題ヲ改善致シ
マスレバ、自然ニ是等ノ事故ハ少クナツテ
來ルト考ヘルノデアリマス、只今御話ノ點
ハ私共最モ心配シテ居リ、而シテ力ヲ致シ
テ居ルト云フモノト申上ゲテ御諒承ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

○久山委員 只今ノ問題ニ關聯シテモウ
ツダケ御伺ヒ致シマス、託送ノ手荷物ガ近
頃頻々トシテ行方不明ニナルノデアリマス、
昨年マデハ百五十圓デアツタガ、現在ハ儲
カ五百圓ニ損害賠償ト申スカ、補償金ノ額ガ
上ツテ居ルヤウニ承ツテ居ルノデアリマス
ガ、荷物ノ行方不明ニナルト云フコトハ私
ハドウ考ヘテモ鐵道省ノ重大ナル責任デア
ルト思フノデアリマス、例ヘバ吾々個人ノ宅
ニ於テ、又ハ街頭ニ於テ物ガナクナレバ、是
ハ警察力ニ依ツテ捜査スルコトガ出來ルノ
デアリマス、全然見付カラナイコトモアル
ガ、日本ノ完備セル警察制度ノ下ニ於キマ
シテハ、能ク竊取サレタモノヲ又發見シ得
ルノデアリマス、所ガ鐵道省ニ於テ一タビ
物ガナクナリマス、殆ド大部分見付カラナ
イ、無論外部ノ警察力ヲ動カシテ鐵道省内部
ヲ取調ベルト云フ手段方法ハアリマセヌ、
相當凡ユル方法ヲ御盡シニナツテ御調査ニ
ナツテ居ルコトハ能ク存ジテ居リマスガ、
ソレハ要スルニ部内ノ仕事デアツテ、一般
ノ警察力ヲ利用スルコトガ出來ナイ、隨テ
ソコニ一旦紛失シマシタ物ノ出テ來ナイ原因
ガアルノデハナカラウカ、斯ウ云フヤウニ
モ考ヘラレルノデアリマス、併シ私ハ外部
ノ警察力ヲ鐵道省ノ内部ニ入レテ捜査サセ
ルト云フコトヲ此處デ主張スルモノデハア
リマセヌ、併シ何トカモウ少シ捜査ノ方法
ヲ科學的ニ御決メニナラヌト、唯列車ニ乗

ツテ居ル車掌ト車掌トノ間ノ取調或ハ上級
ノ監督者ノ取調ダケデハ民間ノ者ハ満足出
來ナイノデハアルマイカ、而モ得ラレル補
償金ハ場合ニ依ツテハ非常ニ少イノデアリ
マス、ミスノ損害ヲ被ル、是モ近時相當
社會ノ問題ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、
何トカ一新機軸ヲ出シテ、物ガナクナラナ
イヤウニ圖ルト同時ニ、ナクナツタ後ニ於
テ之ヲ調査スル、或ハ捜査スル上ノ新シイ
御考ヘハアルマイカ、此ノ點ニ付テ大臣ノ
御意見ヲ承ツテ置キタイノデアリマス

○八田國務大臣 託送手荷物ニ付テ今御話
ノヤウニ行方不明ト云フモノガサウアルト
ハ私ハ實ハ考ヘテ居リマセヌデシタ、一般
ノ託送ノ荷物ニ付テハ先程申シタ通りデア
リマスガ、手荷物ニ付テサウ云フコトガア
ラウトハ實ハ私モ聽イテ居ラスノデアリマ
シテ、只今ノ御話ニ依ツテソレハ容易ナラ
ヌコトダト私ハ考ヘマスノデ、其ノ實情ニ
付テ政府委員ヨリ一應御答申上ゲサセタイ
ト思ヒマス

○堀本政府委員 不着事故ガ割合多イデハ
ナイカト云フコトデアリマスガ、今大臣カ
ラ御話ノアリマシタヤウニ、手荷物ニ關シ
テハ全體トシテ非常ニ少イト思ツテ居リマ
ス、併シ小荷物其ノ他小口ニ付テ其ノ問題
ガ相當アリ、無論手荷物ニ付テモ荷札ノ脱
落デアルトカ誤卸シノ結果不着ヲ見ルト云
フヤウナ事實モアルノデアリマス、不着事
故ノ一番大キナ原因ト申スノハ、先づ最近
ノ所、荷物ノ針金其ノ他ノ類ガ非常ニ脱落
シ易クナツテ居リ、モウ一ツハ非常ニ多數
ノ荷物ヲ一車ニ積マナケレバナラス、箇數
ガ非常ニ殖エタ上ニ、途中ノ授受ニ非常ニ
困難ヲ來スト云フヤウナ狀況デアリマス、

尙ホ先程大臣モ仰セニナリマシタヤウニ、
荷造リナド問題ハ各種ノ方面ニ互ツテゴザ
イマス、併シ何レニ致シマシテモ非常ニ申
譯ナイ話デアリマシテ、先程仰セラレマシ
タヤウニ、一體事故ガドウシテ起ツタカト
云フコトガ的確迅速ニ分ルコトハ、直チニ
防止對策ニナル譯デゴザイマシテ、私共ト
シテハ事故原因ノ早急探索ト云フコトデ

是ハ事故ニ付テノ跡始末ト申スヨリ、起リ
マシタ一々徹底的ニ調査致シマシテ、仰セ
ノヤウニ發送ノ場所ト到着ノ場所ハ違フ譯
デアリマスカラ、ソレヲ縱斷的ニ捜査スル
ト云フコトヲ、是ハ相當困難ヲ伴ヒマスガ、
最近ハ徹底的ニソレヲ専門ニヤラセテ居ル
ヤウナ次第デアリマス、尙ホ外部ノ力ヲ鐵
道内部ニ用ヒルノハドウカト云フ御話モア
リマシタガ、私共ハ大局ノ爲ニ、又將來ノ
名譽ノ爲ニ、是ガ減少ヲ圖リタイト云フヤ
ウニ考ヘマシテ、内務省其ノ他トモ協力致
シ、其ノ事故原因ヲ徹底的ニ糾明スル、サ
ウ云フ風ナ程度マデ實際問題トシテハ進メ
テ居リマス

○久山委員 私ハマダ御聽キシタイ點ガア
リマスガ、多數質問ノ通告モアラウト思ヒ
マスノデ、此ノ程度デ一應打切りマス

○堀本政府委員 不着事故ガ割合多イデハ
ナイカト云フコトデアリマスガ、今大臣カ
ラ御話ノアリマシタヤウニ、手荷物ニ關シ
テハ全體トシテ非常ニ少イト思ツテ居リマ
ス、併シ小荷物其ノ他小口ニ付テ其ノ問題
ガ相當アリ、無論手荷物ニ付テモ荷札ノ脱
落デアルトカ誤卸シノ結果不着ヲ見ルト云
フヤウナ事實モアルノデアリマス、不着事
故ノ一番大キナ原因ト申スノハ、先づ最近
ノ所、荷物ノ針金其ノ他ノ類ガ非常ニ脱落
シ易クナツテ居リ、モウ一ツハ非常ニ多數
ノ荷物ヲ一車ニ積マナケレバナラス、箇數
ガ非常ニ殖エタ上ニ、途中ノ授受ニ非常ニ
困難ヲ來スト云フヤウナ狀況デアリマス、

○堀本政府委員 不着事故ガ割合多イデハ
ナイカト云フコトデアリマスガ、今大臣カ
ラ御話ノアリマシタヤウニ、手荷物ニ關シ
テハ全體トシテ非常ニ少イト思ツテ居リマ
ス、併シ小荷物其ノ他小口ニ付テ其ノ問題
ガ相當アリ、無論手荷物ニ付テモ荷札ノ脱
落デアルトカ誤卸シノ結果不着ヲ見ルト云
フヤウナ事實モアルノデアリマス、不着事
故ノ一番大キナ原因ト申スノハ、先づ最近
ノ所、荷物ノ針金其ノ他ノ類ガ非常ニ脱落
シ易クナツテ居リ、モウ一ツハ非常ニ多數
ノ荷物ヲ一車ニ積マナケレバナラス、箇數
ガ非常ニ殖エタ上ニ、途中ノ授受ニ非常ニ
困難ヲ來スト云フヤウナ狀況デアリマス、

○堀本政府委員 不着事故ガ割合多イデハ
ナイカト云フコトデアリマスガ、今大臣カ
ラ御話ノアリマシタヤウニ、手荷物ニ關シ
テハ全體トシテ非常ニ少イト思ツテ居リマ
ス、併シ小荷物其ノ他小口ニ付テ其ノ問題
ガ相當アリ、無論手荷物ニ付テモ荷札ノ脱
落デアルトカ誤卸シノ結果不着ヲ見ルト云
フヤウナ事實モアルノデアリマス、不着事
故ノ一番大キナ原因ト申スノハ、先づ最近
ノ所、荷物ノ針金其ノ他ノ類ガ非常ニ脱落
シ易クナツテ居リ、モウ一ツハ非常ニ多數
ノ荷物ヲ一車ニ積マナケレバナラス、箇數
ガ非常ニ殖エタ上ニ、途中ノ授受ニ非常ニ
困難ヲ來スト云フヤウナ狀況デアリマス、

○堀本政府委員 不着事故ガ割合多イデハ
ナイカト云フコトデアリマスガ、今大臣カ
ラ御話ノアリマシタヤウニ、手荷物ニ關シ
テハ全體トシテ非常ニ少イト思ツテ居リマ
ス、併シ小荷物其ノ他小口ニ付テ其ノ問題
ガ相當アリ、無論手荷物ニ付テモ荷札ノ脱
落デアルトカ誤卸シノ結果不着ヲ見ルト云
フヤウナ事實モアルノデアリマス、不着事
故ノ一番大キナ原因ト申スノハ、先づ最近
ノ所、荷物ノ針金其ノ他ノ類ガ非常ニ脱落
シ易クナツテ居リ、モウ一ツハ非常ニ多數
ノ荷物ヲ一車ニ積マナケレバナラス、箇數
ガ非常ニ殖エタ上ニ、途中ノ授受ニ非常ニ
困難ヲ來スト云フヤウナ狀況デアリマス、

○堀本政府委員 不着事故ガ割合多イデハ
ナイカト云フコトデアリマスガ、今大臣カ
ラ御話ノアリマシタヤウニ、手荷物ニ關シ
テハ全體トシテ非常ニ少イト思ツテ居リマ
ス、併シ小荷物其ノ他小口ニ付テ其ノ問題
ガ相當アリ、無論手荷物ニ付テモ荷札ノ脱
落デアルトカ誤卸シノ結果不着ヲ見ルト云
フヤウナ事實モアルノデアリマス、不着事
故ノ一番大キナ原因ト申スノハ、先づ最近
ノ所、荷物ノ針金其ノ他ノ類ガ非常ニ脱落
シ易クナツテ居リ、モウ一ツハ非常ニ多數
ノ荷物ヲ一車ニ積マナケレバナラス、箇數
ガ非常ニ殖エタ上ニ、途中ノ授受ニ非常ニ
困難ヲ來スト云フヤウナ狀況デアリマス、

○堀本政府委員 不着事故ガ割合多イデハ
ナイカト云フコトデアリマスガ、今大臣カ
ラ御話ノアリマシタヤウニ、手荷物ニ關シ
テハ全體トシテ非常ニ少イト思ツテ居リマ
ス、併シ小荷物其ノ他小口ニ付テ其ノ問題
ガ相當アリ、無論手荷物ニ付テモ荷札ノ脱
落デアルトカ誤卸シノ結果不着ヲ見ルト云
フヤウナ事實モアルノデアリマス、不着事
故ノ一番大キナ原因ト申スノハ、先づ最近
ノ所、荷物ノ針金其ノ他ノ類ガ非常ニ脱落
シ易クナツテ居リ、モウ一ツハ非常ニ多數
ノ荷物ヲ一車ニ積マナケレバナラス、箇數
ガ非常ニ殖エタ上ニ、途中ノ授受ニ非常ニ
困難ヲ來スト云フヤウナ狀況デアリマス、

○堀本政府委員 不着事故ガ割合多イデハ
ナイカト云フコトデアリマスガ、今大臣カ
ラ御話ノアリマシタヤウニ、手荷物ニ關シ
テハ全體トシテ非常ニ少イト思ツテ居リマ
ス、併シ小荷物其ノ他小口ニ付テ其ノ問題
ガ相當アリ、無論手荷物ニ付テモ荷札ノ脱
落デアルトカ誤卸シノ結果不着ヲ見ルト云
フヤウナ事實モアルノデアリマス、不着事
故ノ一番大キナ原因ト申スノハ、先づ最近
ノ所、荷物ノ針金其ノ他ノ類ガ非常ニ脱落
シ易クナツテ居リ、モウ一ツハ非常ニ多數
ノ荷物ヲ一車ニ積マナケレバナラス、箇數
ガ非常ニ殖エタ上ニ、途中ノ授受ニ非常ニ
困難ヲ來スト云フヤウナ狀況デアリマス、

○堀本政府委員 不着事故ガ割合多イデハ
ナイカト云フコトデアリマスガ、今大臣カ
ラ御話ノアリマシタヤウニ、手荷物ニ關シ
テハ全體トシテ非常ニ少イト思ツテ居リマ
ス、併シ小荷物其ノ他小口ニ付テ其ノ問題
ガ相當アリ、無論手荷物ニ付テモ荷札ノ脱
落デアルトカ誤卸シノ結果不着ヲ見ルト云
フヤウナ事實モアルノデアリマス、不着事
故ノ一番大キナ原因ト申スノハ、先づ最近
ノ所、荷物ノ針金其ノ他ノ類ガ非常ニ脱落
シ易クナツテ居リ、モウ一ツハ非常ニ多數
ノ荷物ヲ一車ニ積マナケレバナラス、箇數
ガ非常ニ殖エタ上ニ、途中ノ授受ニ非常ニ
困難ヲ來スト云フヤウナ狀況デアリマス、

○堀本政府委員 不着事故ガ割合多イデハ
ナイカト云フコトデアリマスガ、今大臣カ
ラ御話ノアリマシタヤウニ、手荷物ニ關シ
テハ全體トシテ非常ニ少イト思ツテ居リマ
ス、併シ小荷物其ノ他小口ニ付テ其ノ問題
ガ相當アリ、無論手荷物ニ付テモ荷札ノ脱
落デアルトカ誤卸シノ結果不着ヲ見ルト云
フヤウナ事實モアルノデアリマス、不着事
故ノ一番大キナ原因ト申スノハ、先づ最近
ノ所、荷物ノ針金其ノ他ノ類ガ非常ニ脱落
シ易クナツテ居リ、モウ一ツハ非常ニ多數
ノ荷物ヲ一車ニ積マナケレバナラス、箇數
ガ非常ニ殖エタ上ニ、途中ノ授受ニ非常ニ
困難ヲ來スト云フヤウナ狀況デアリマス、

○堀本政府委員 不着事故ガ割合多イデハ
ナイカト云フコトデアリマスガ、今大臣カ
ラ御話ノアリマシタヤウニ、手荷物ニ關シ
テハ全體トシテ非常ニ少イト思ツテ居リマ
ス、併シ小荷物其ノ他小口ニ付テ其ノ問題
ガ相當アリ、無論手荷物ニ付テモ荷札ノ脱
落デアルトカ誤卸シノ結果不着ヲ見ルト云
フヤウナ事實モアルノデアリマス、不着事
故ノ一番大キナ原因ト申スノハ、先づ最近
ノ所、荷物ノ針金其ノ他ノ類ガ非常ニ脱落
シ易クナツテ居リ、モウ一ツハ非常ニ多數
ノ荷物ヲ一車ニ積マナケレバナラス、箇數
ガ非常ニ殖エタ上ニ、途中ノ授受ニ非常ニ
困難ヲ來スト云フヤウナ狀況デアリマス、

○堀本政府委員 不着事故ガ割合多イデハ
ナイカト云フコトデアリマスガ、今大臣カ
ラ御話ノアリマシタヤウニ、手荷物ニ關シ
テハ全體トシテ非常ニ少イト思ツテ居リマ
ス、併シ小荷物其ノ他小口ニ付テ其ノ問題
ガ相當アリ、無論手荷物ニ付テモ荷札ノ脱
落デアルトカ誤卸シノ結果不着ヲ見ルト云
フヤウナ事實モアルノデアリマス、不着事
故ノ一番大キナ原因ト申スノハ、先づ最近
ノ所、荷物ノ針金其ノ他ノ類ガ非常ニ脱落
シ易クナツテ居リ、モウ一ツハ非常ニ多數
ノ荷物ヲ一車ニ積マナケレバナラス、箇數
ガ非常ニ殖エタ上ニ、途中ノ授受ニ非常ニ
困難ヲ來スト云フヤウナ狀況デアリマス、

○堀本政府委員 不着事故ガ割合多イデハ
ナイカト云フコトデアリマスガ、今大臣カ
ラ御話ノアリマシタヤウニ、手荷物ニ關シ
テハ全體トシテ非常ニ少イト思ツテ居リマ
ス、併シ小荷物其ノ他小口ニ付テ其ノ問題
ガ相當アリ、無論手荷物ニ付テモ荷札ノ脱
落デアルトカ誤卸シノ結果不着ヲ見ルト云
フヤウナ事實モアルノデアリマス、不着事
故ノ一番大キナ原因ト申スノハ、先づ最近
ノ所、荷物ノ針金其ノ他ノ類ガ非常ニ脱落
シ易クナツテ居リ、モウ一ツハ非常ニ多數
ノ荷物ヲ一車ニ積マナケレバナラス、箇數
ガ非常ニ殖エタ上ニ、途中ノ授受ニ非常ニ
困難ヲ來スト云フヤウナ狀況デアリマス、

○堀本政府委員 不着事故ガ割合多イデハ
ナイカト云フコトデアリマスガ、今大臣カ
ラ御話ノアリマシタヤウニ、手荷物ニ關シ
テハ全體トシテ非常ニ少イト思ツテ居リマ
ス、併シ小荷物其ノ他小口ニ付テ其ノ問題
ガ相當アリ、無論手荷物ニ付テモ荷札ノ脱
落デアルトカ誤卸シノ結果不着ヲ見ルト云
フヤウナ事實モアルノデアリマス、不着事
故ノ一番大キナ原因ト申スノハ、先づ最近
ノ所、荷物ノ針金其ノ他ノ類ガ非常ニ脱落
シ易クナツテ居リ、モウ一ツハ非常ニ多數
ノ荷物ヲ一車ニ積マナケレバナラス、箇數
ガ非常ニ殖エタ上ニ、途中ノ授受ニ非常ニ
困難ヲ來スト云フヤウナ狀況デアリマス、

○堀本政府委員 不着事故ガ割合多イデハ
ナイカト云フコトデアリマスガ、今大臣カ
ラ御話ノアリマシタヤウニ、手荷物ニ關シ
テハ全體トシテ非常ニ少イト思ツテ居リマ
ス、併シ小荷物其ノ他小口ニ付テ其ノ問題
ガ相當アリ、無論手荷物ニ付テモ荷札ノ脱
落デアルトカ誤卸シノ結果不着ヲ見ルト云
フヤウナ事實モアルノデアリマス、不着事
故ノ一番大キナ原因ト申スノハ、先づ最近
ノ所、荷物ノ針金其ノ他ノ類ガ非常ニ脱落
シ易クナツテ居リ、モウ一ツハ非常ニ多數
ノ荷物ヲ一車ニ積マナケレバナラス、箇數
ガ非常ニ殖エタ上ニ、途中ノ授受ニ非常ニ
困難ヲ來スト云フヤウナ狀況デアリマス、

○堀本政府委員 不着事故ガ割合多イデハ
ナイカト云フコトデアリマスガ、今大臣カ
ラ御話ノアリマシタヤウニ、手荷物ニ關シ
テハ全體トシテ非常ニ少イト思ツテ居リマ
ス、併シ小荷物其ノ他小口ニ付テ其ノ問題
ガ相當アリ、無論手荷物ニ付テモ荷札ノ脱
落デアルトカ誤卸シノ結果不着ヲ見ルト云
フヤウナ事實モアルノデアリマス、不着事
故ノ一番大キナ原因ト申スノハ、先づ最近
ノ所、荷物ノ針金其ノ他ノ類ガ非常ニ脱落
シ易クナツテ居リ、モウ一ツハ非常ニ多數
ノ荷物ヲ一車ニ積マナケレバナラス、箇數
ガ非常ニ殖エタ上ニ、途中ノ授受ニ非常ニ
困難ヲ來スト云フヤウナ狀況デアリマス、

變ツテ居ル位ニ考ヘラレル程ニ非常ニ重要
ナモノデアルト思フデアリマス、隨テ今
後大東亞共榮國ヲ建設スルニハ鐵道ヲ國策
トシテ扱ツテ、サウシテ日本、滿洲、支那、
或ハ佛印、「タイ」、「マライ」ヲ通シテ大ナ
ル國策ヲナケレバナラヌト思ヒマス、之ニ
關シマシテ八田鐵道大臣ハ、識見モアリ、
又經驗ノ深イ方デアリマスカラ、定メシ大
キナ策アリト思ヒマスカラ、此ノ際其ノ點
ヲ一寸御伺ヒシタイト思ヒマス

○八田國務大臣 鐵道國策ニ付キマシテハ、
簡單ニ申シマスレバ、大東亞戰爭開始以前
ト其ノ以後トニ於キマシテハ私ハ根本的ニ
變ツテ參ツタト申スコトガ出來ルト考ヘマ
ス、即チ大東亞戰爭以前ニ於キマシテハ大
體ニ於キマシテハ大キナ鐵道國策、交通國
策ハ主トシテ大陸ト日本、即チ日滿支一體
ノ鐵道交通ヲ根本ト致シマシタ國策デアッ
タト考ヘルデアリマス、其ノ以後ニ於キ
マシテハ更ニモウ一層擴大サレテ是ガ考ヘ
ラレルトコトニナラナケレバナラヌデアリ
マス、私共ハ之ニ對シマシテドウ云フ考ヘ方
ヲシテ居ルカト申シマス、第一ニハ、御承
知ノ通り大東亞建設會議ニ於キマシテ色
色ノ部門ニ付キマシテノ基本國策ノ御研究
ガ官民協力シテ出來上ツテ居ルデアリマ
ス、其ノ中ノ交通ニ關スル基本方策ト云フモ
ノガ先ヅ根本ニナルデアリマス、其ノ内
容ハ御承知デアリマスカラ申上ゲマセウガ、
此ノ大東亞建設ノ我ガ國ノ根本交通方針ニ
基キマシテ、此ノ基本國策ニ基キマシテ、
陸海空之ニ對スル具體的ノ施策ヲ今後
講ジテ行ク、斯ウ云フコトニ結着スルト
思フデアリマス、陸上ニ關スル限リニ
於キマシテハ此ノ見地ヨリ致シマシテ、

ドウシマシテモ、幹線、詰リ大陸トノ交
通、ソレカラ南方ヨリノ連繫、即チ港灣、
此ノ點ヲ中心トシテ國內ニ於ケル鐵道國策
ハ又具體化サレテ行カナケレバナラヌト思
ヒマス、之ニ應ジマスル爲ニハ、是ハ私共
ノ一部理想ニ相成リマスガ、今日具體化
シテ居リマセウカラ、一部理想ト申シテ
宜カラウト思フデアリマスガ、即チ今日
マデノ國有鐵道ノ線路ヲ唯之ヲ擴張シテ行
キ、港ニ接續サセル、列車ノ牽引力ヲ増シ、速
度ヲ増スト云フコト以外ニ、モウ一ツドウ
シテモ考ヘナケレバナラヌ點ハ軌幅ノ問題
デアルト思ヒマス、ソレハ既ニ帝國議會ノ
御協賛ヲ得マシテ、今日其ノ一部ニ着手シテ
居リマス東京下關間ノ廣軌新線デアリマ
スガ、是ハ今日ソレダケノ區間ニ於テ廣軌
ノ複線ガ將來敷設サレルコトダケガ具體化
サレテ居リマスガ、私ノ考ヘト致シマシテ
ハ是ガ將來ニ於テドウシテモ延長且ツ新線
ヲ持チ、直接港灣ニ額ヲ出シ、而シテソレガ
大陸ニ向ツテ直接ノ連繫ヲ圖ツテ行クト云
フコトデナケレバ斯ノ如キ大ナル大東亞ノ
將來ノ發展、軍事、經濟、文化、各方面カ
ラ見マシテ、ドウシテモ此ノ中心指導的立
場ニアリマスル日本國內ノ交通機關ト云フ
モノハ、ソコマデ發展シテ參ラナケレバナ
ラヌト考ヘルデアリマス、ソレ故ニ私共
ハ出來得レバ今日ノ國有鐵道ヲ擴張シテ參
リマスルト同時ニ、一方ニ於キマシテハ廣
軌新線ヲ北ニ西ニ延バシマシテ、港ニ直接
連繫スルコトニ依ツテ、大陸ノ廣軌ト同ジ
軌幅ニ於テ、此ノ海陸ノ連繫ガ少クトモ貨
車航送ノ車輛ヲ其ノ儘海上ヲ輸送スルコ
ト恰モ只今ノ青森函館間ト同一ノ方式ニ依
リ、大陸ニ接續セラルベキモノデアルト考

ヘルデアリマス、左様致スコトニ依リマ
シテ、國內ノ各大都會、新シク勃興シマスル
所ノ工場地帯等ハ、是等ノ力アル輸送力ヲ
持ツタ所ノ交通機關ガ直接接續シテ參ル
コトニ依ツテ、初メテ將來限リナク膨脹ス
ルト考ヘラレル所ノ大陸トノ交通、又、海
上ヲ通ジテノ南方ヘノ交通ト云フモノニ對
シテ、輸送力ヲ初メテ賄ヒ得ルモノト考ヘ
ルデアリマス、更ニ將來大陸トノ間ニ貨車
航送ガ進ミマシテ、直接關門同様ナル施設
ガ出來ルヤウナコトヲモ、私共ハ期待シテ
已マナイ次第デアリマスガ、是ハ遠キ將來
ニ屬スルト考ヘマス、併シナガラ少クトモ
貨車航送ト云フコトダケハ、出來ルダケ早
ク是ハ開始シナケレバ今日ノ如ク港灣ニ於
テ非常ナ手數ヲ以テ荷役ヲスル、之ニ要ス
ル所ノ勞務ト云フノハ到底賄ヒ切レナイ、
如何ニ機械力ヲ用ヒルト致シマシテモ、港
灣ノ直接海面ニ接シマシタ、何ト申シマス
カ、普通言フ「ウォーター・フロント」ノ長サ、岸
壁ノ長サト云フモノガ甚ダ有效デナク使ハ
レルコトニ相成ルト思ヒマスルノデ、貨車
航送船ニ依ツテ大陸直通ノ貨物ハ貨車ノ儘
是ガ直行スルト云フコトニナリマスルト、
何等人手ヲ要セズシテ直接彼我ノ交換ガ出
來ル譯デアリマス、此ノ間ニ積替モゴザイ
マセヌシ、人手モ要ラズ、又港灣ニ對シテ
占メル所ノ面積モ極メテ少クテ濟ムノデア
リマスルガラ、私ハドウシテモソコマデ早
ク進メナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデ
アリマス、此ノ點ニ付キマシテハ鐵道省ニ
於キマシテモ稍々具體的ナ案ヲ既ニ進メテ居
ルヤウナ次第デアリマス、今回ノ豫算ニハ
マダ具體的ニ提案スルコトガ出來テ居リマ
セヌガ、近ク是非トモ是ハシナケレバナラ

ヌモノト考ヘテ居ルデアリマス、左様ナ
意味カラ、驕リマシテ國內ニ關スル限リハ
過去ノ鐵道ノ建設改良其ノ他ノ計畫ハ根本
的ニ再檢討セラレマシテ、又港ニ付キマシ
テモ、其ノ施設ハ根本的ニ鐵道ト海トノ連
繫ト云フモノニ對シテ檢討セラレテ行カナ
ケレバナラヌト思ヒマス、其ノ一部ガ今回
ノ鐵道豫算ニハ甚ダ不十分デアリマスガ、
現ハレテ居ルヤウナ次第デアリマス

○坂東委員 只今鐵道大臣ノ御意見ハ全ク
私モサウ思ツテ居ルデアリマス、其ノ觀
點カラスルナラバ、朝鮮ノ鐵道ノ如キモノ
ハ速カニ鐵道省ニ移管スベキモノデアルト
同時ニ又朝鮮鐵道ハ彈丸列車ト並行シテ速
カニ複線ニスベキモノデアルト考ヘル、過
去ノ歷史ヲ言ヒマスルナラバ、アノ長イ「シ
ベリア」鐵道ガ複線デアアルニモ拘ラズ、僅
カノ朝鮮鐵道ガ複線デナイト云フコトハ過
去ノ當局ノ大ナル失態デアルト考ヘル、デ
アルカラ今後大東亞共榮國ノ中心タル我ガ
日本タルモノハ此ノ點ニ思ヒヲ致シテ、速
カニ只今鐵道大臣ノ申サレマシタヤウナ大
國策的鐵道政策ヲ實行スベキモノデアルト
考ヘル、此ノ點カラ貨車航送船ノ増加ハ言
フマデモナク、朝鮮鐵道ノ複線並ニ彈丸列
車同様ニ朝鮮、支那、ソレカラ佛印「タイ」昭
南島ニ通ズル所ノ所謂大動脈線、大彈丸列
車ヲ造ル、サウ云フ遠大ナ計畫ヲ立ツベキ
モノデアルト思フデアリマス、大體只今
ノ鐵道大臣ノ御考ヘハサウラシイ風モア
ル、大東亞會議ノ御相談モ去ルコトナガ
ラ、鐵道大臣タル八田サンハ自ラ「イニシア
テイヴ」ヲ取ルト云フ所ノ大決心ヲ以テサ
ウ云フ大方針ヲ立デルト云フ所ノ御決心ガ
アルカドウカト云フコトヲ御伺ヒシテ置キ

タイノデアリマス

○八田國務大臣 大陸ニ於ケル鐵道ハ、ソレガ滿洲デアリマセウガ、朝鮮デアリマセウガ、支那デアリマセウガ、先程申上ゲマシタヤウニ日本ヲ中心トシテ全ク實質上一貫的ニ運營セラレナケレバナラヌト考ヘマス、御話ノ通りデアルト考ヘマス、朝鮮鐵道ニ付テモ總督府ニ於テ無論十分計畫ヲ立テラレテ居リマスルガ、鐵道省ト致シマシテモ今御話ノ如ク支那、滿洲、朝鮮、サウシテ此ノ日本ヘ直接一貫的ノ運營ノ出來ル、隨テ是ト調子ノ合フ能力ヲ持ツ所ノモノニ改善強化サレテ行カナケレバナラヌト考ヘマシテ、其ノ方針デ鐵道省トシテモ協力ヲ致ス考ヘデ居ル譯デアリマス、現ニ日滿支交通懇談會、日滿支資材ノ懇談會或ハ日滿支要員懇談會等色々名前デ部門分ケラシ、大陸ノ各鐵道機關並ニ海上ノ輸送機關ガ國有鐵道ト一緒ニナリマシテ、大東亞ノ鐵道並ニ諸交通機關ノ協力體制ガ實ハ出來テ居ルノデアリマス、茲ニ於キマシテ是等ノ計畫ヲ樹テ、又他ノ委員會ニ於キマシテハ、之ニ必要ナル資材車輛ナドヲ準備シ、サウシテ實際ノ連絡運輸モ締結シテ參ツテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、御話ノ通りデアリマス

又大陸ヲ經テ南方占領地方面ニ參リマス點ニ付キマシテモ、相當研究ヲ續ケテ居ルヤウナ次第デアリマスガ、是ハ軍政等ノ關係ガゴザイマスノデ、私ヨリ具體的ニ申上ゲルコトハ出來マセヌ、御諒承ヲ願ヒマス

○坂東委員 只今御話ノ彈丸列車ノコトニ付キマシテ一寸御伺ヒ致シマスガ、是ハ廣軌鐵道デ非常ニ工事ガ良ク、早く着クト云フ意味デ、彈丸列車ノ名ガアルコト思ヒマス、所ガ此ノ時局ニ關聯シテ考ヘナケレバ

ナラヌコトハ、日本ハ何トシテモ非常ニ空襲ノ危險性ガ多イ、今斯ウ申シテ居ル中ニモ空襲ガアルカモ知レナイ、故ニ日本ニ出來ル鐵道ニ於キマシテモ一例ヘバ大井、天龍等ノ長イ鐵橋ガ空襲ニ依ツテ破壊サレタ場合ニハ、ドウシテモ直グニハ出來ナイカラ、交通上大支障ヲ來シ、作戰上ニモ非常ナ困難ヲ生ズル、此ノ點カラ考ヘマサルナラバ、サウ云フ長イ川ノ鐵橋ヨリモ、寧ロ「アメリカ」ナドニアル河底「トンネル」ヲ通シテ置クコトガ空襲ニ依ル危險ヲ豫防スル途ニナルト思ヒマス、又同時ニ空襲ヲ避ケル方面カラ考ヘルナラバ、出來ルダケ「トンネル」ヲ殖ヤシテ置クコトモ空襲ヲ避ケル方法デアアル、斯ウ云フ點カラ考ヘテ、現在ノ彈丸列車ノ設計ニ付キマシテモ、サウ云フ意味ヲ加ヘテ設計ヲ變更シテ然ルベキモノト考ヘマスガ、此ノ點ニ關シテハドウ云フ御考ヘデアリマスカ、御伺ヒ致シマス

○八田國務大臣 鐵道防空ノ問題ニ付キマシテハ、鐵道省ト致シマシテハ勿論軍防空ト密接ナル連繫ヲシ、又一方ニ於テハ民間防空ト直接ノ關係ヲ持ツテ萬全ノ措置ヲ講ジテ居ル譯デアリマス、重要ナル建造物等ニ付キマシテモ、資材並ニ工作班等ノ關係ニ付キマシテモ、相當準備ハアルノデアリマスガ、是等ヲ詳シク申上ゲルコトハ出來マセヌ、併シナガラ根本ノ問題トシテ施設物其ノモノヲ成ベク破壊サレナイヤウナモノニスルト云フコトハ全ク御同感デアリマス、今日マデニ出來テ居リマスモノ、今日防空ト云フ問題ガ極メテ重要ナル問題ニナリマシテカラノ眼ヲ以テ過去ヲ振り返ツテ見マスルト、御話ノ如ク斯ウスレバ宜カワタト云フ點ガ多クアリマス、殊ニ只今例ヲ

舉ゲラレマシタ橋梁ノ如キハ其ノ線路ノ選ビ方ニ依リマシテ立派ニ橋梁デナク、水底ヲ「トンネル」デ行ツタ方ガ凡ユル點カラ都合ノ好カワタモノガ多クアルノデアリマス、當時遺憾ナガラ此ノ防空ト云フ問題ニ付キマシテ吾々初メ其ノ感ジ方、考ヘ方ガ及バナカツタ爲ニサウ云フ點ハ已ムヲ得ナカツタト思ヒマスガ、今日以後ニ於キマシテ此ノ點ハ十分ニ考ヘテ行カナケレバナラヌト存ジマシテ、鐵道省ニ於キマシテモ其ノ點ハ研究致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、今後恐ラク御話ノヤウナ點ニ付キマシテハ十分ナル具體的ノモノガ現ハレテ參ルダラウト考ヘテ居リマス、ソレハ廣軌ニ付テモ左様デアリマスガ、廣軌鐵道ハ大體ニ於テ長イ「トンネル」ガ相當多イノデアリマシテ、東海道線ニ於キマシテモ今御話ノヤウニ選バレテ居リマスガ、併シナガラモットモットヤルベキ點ガ殘ツテ居ルノデアリマスカラ、河等ニ付キマシテハ更ニ私ノ方ニ於キマシテ研究ヲ續ケタイト思ツテ居リマス

○坂東委員 關門「トンネル」ノ開通ハ日本ノ鐵道界ニ於ケル一ツノ「ヒット」デアツテ、吾々ハ大イニ鐵道省ニ對シテ敬意ヲ表シマスガ、此ノ經驗ニ基キマシテ本州ト北海道ヲ繋グ所ノ青函連絡ニ對シマシテモ海底「トンネル」ヲ造ラルベキモノト思ヒマスガ、ソレニ對スル御考ヘハ如何デアリマスカ

○八田國務大臣 北海道ト本州トノ間ノ海底「トンネル」ニ付キマシテモ私共ハ之ニ着眼致シマシテ或ル程度ノ構想ヲ回ラシテ居リマス、併シナガラ具體的ニハマダ設計トカ、計畫トカ云フマデニハ進ンデ居リマス、恐ラク他日サウ云フ必要ガ起ルモノト考ヘマスノデ、私共ハ其ノ考ヘヲ練ルコトヲ怠ツテ居ラス積リデアリマス、又ソレハ可能デアルト思ヒマス

○坂東委員 北方ノ國防ノ重要性ハ現在ノミナラズ、將來此ノ戰爭ガ如何ニ終局スルニセヨ、其ノ危險性ハ去ラナイ、隨テ北方ノ國防ニ對シマシテハ大イニ策ヲ立テナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、其ノ策ノ最モ大事ナル部門ヲナスモノハ何ト申シマシテモ交通、即チ鐵道デアルト思ヒマス、此ノ觀點カラ言ヒマスナラバ北海道カラ樺太ヲ通ジマシテソレゴソ完全ナル幹線鐵道ヲ付ケテ置カネバナラヌ、斯ウ考ヘマスガ、此ノ點ニ關シマシテハ如何デゴザイマスカ

○八田國務大臣 國防交通ト云フ問題ハ一般的ニ論ジマシテ密接不可分ノモノデアルト考ヘマスノデ、私共ハ今後ニ於キマシテモ其ノ方面ノ如何ヲ問ハズ、十分ニ怠リナイ施設ヲ致シテ參リタイト思ヒマス、只今御話ノ樺太方面ニ付キマシテハ今回御承知ノ通り十八年度カラ樺太ノ鐵道ハ國有鐵道トシテ鐵道省ノ所管ニ屬スルヤウニナリマスノデ、是ガ改善強化等ニ付キマシテハ、敢テ國防ト云フ點バカリデナク、鐵道交通ノ立場カラモ十分ニ是ガ強化ヲ圖ツテ參リタイト考ヘテ居リマス

○坂東委員 大體鐵道大臣ノ御意見ハ御尤モト考ヘマス、ドウカアナタガ鐵道大臣デ居ラレルウチニ鐵道ト云フモノヲ國策的ノ見地カラ十分ナル對策ヲ立テラレルヤウ御努力アラントラ切望致シマシテ私ノ質問ヲ終リマス

○横川委員長 本日ハ此ノ程度デ散會シタイト存ジマス、明日ハ午前十時カラ開會シタイト思ヒマス

午後四時十七分散會